

誰でもできる 耳コピソフト2

取り扱い説明書

シリアルナンバーは大切に保管してください。

IRT0364

※ソフトインストール時や最新版アップデートの際に必要となります。

製品ご利用の前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。
※本書及びシリアルナンバーを再発行することはできません。



目次

動作環境・その他	2
インストール方法とアンインストール方法	3~6
起動方法	7~8
画面各部の説明	
メイン画面	9~18
録音[停止]画面	19
解析データのプロパティ画面	19
解析画面	20
設定画面	21~22
ショートカットキーの設定画面	23
テンポ解析画面	24
キー解析結果画面	24
コード検出画面	25
自動採譜画面	25
基本の操作	
音楽ファイルを開いて解析する	26~28
再生する	29~30
リピート再生する	31~32
採譜をする前に	
テンポを設定する	33
コードを検出する	34~36
コードを編集する	37~38
採譜をする	
自動採譜する	39~42
ノートを配置、編集する	43~45
ノートを選択する	46~48
WAVE音量とMIDI音量を調整する	49
ファイルを出力する	
コードをMIDIファイルに出力する	50
コードをテキストファイルに出力する	51
ノートをMIDIファイルに出力する	52
解析データを保存する・開く	
解析データを保存する	53
解析データを上書き保存する	54
解析データを開く	55~57
その他の機能	
ラベルを設定する	58~59
ラベル名を編集する	60
ラベルを削除する	61
テンポチェンジする	62
テンポチェンジを編集する	63
テンポチェンジを削除する	64
リズム、キー変更を追加する	65
リズム、キー変更を編集する	66
リズム、キー変更を削除する	67
基本周波数を解析する	68
イコライザを設定・登録する	69
速度・音程を設定する	70
音楽に効果を付けて、WAVEファイルとして保存する	71
録音した音声を解析する	72~75
付属ソフト・CDリッピングツール	
画面・各部の説明	76~77
CDの音楽をソフトに読み込める形式に変換する	78~79
付属ソフト・ファイル変換ツール	
画面・各部の説明	80~81
音楽ファイルを読み込める形式に変換する	82~84
よくあるお問い合わせ	
お問い合わせ窓口	
	85~92
	94~95

動作環境

■対応OS : Windows XP / Vista / 7 / 8 / 8.1 ※Mac には対応しておりません。

※日本語版OS 32ビットに対応です。各種ServerOS等には対応しておりません。

Windows 7、8、8.1の64ビットでは、WOW64(32ビット互換モード)で動作します。

※Windows 8 / 8.1では、デスクトップモードのみ対応です。

※Windows 8.1 RTM版で検証しました。

■サービスパック : 最新のサービスパック(SP)及び各種パッチが適用されている環境が前提です。

■CPU : Intelプロセッサ 1GHz以上 (または同等の互換プロセッサ)

■メモリ : 1GB以上 (Windows 7 / 8 / 8.1 の場合、2GB以上)

■モニター : 1280×768以上の解像度で色深度32bit True Color以上の表示をサポートしている環境

■CD-ROM : 倍速以上

■ハードディスク : 1GB以上の空き容量 (インストール時)※これ以外にシステムドライブ上にデータ保存の為の空き容量が必要です。

■その他 : インターネット接続環境必須

※PDF閲覧ソフトのインストールやアップデートや最新情報の確認を行う際にはインターネット接続環境が必要です。

■対応ファイル形式

<誰でもできる耳コピソフト2> 読込 : WAV
出力 : MIDI / WAV

<ファイル変換ツール> 読込 : MP3 / M4A / AAC
出力 : WAV

<CDリッピングツール> 読込形式 : 読込可能なコピープロテクションが施されていないCD
保存形式 : WAV / MP3

■ご注意

※他のソフトとの互換性はありません。

※本ソフトではデータが大きすぎる音源ファイルや一度にたくさんの音源ファイルを使用しますとパソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。

※作成した音源ファイルを再生するには、対応ファイル形式の再生に必要なコーデック、フィルター、機器等の別途再生環境が必要です。お使いのパソコン上で正常に再生できるファイルのみの対応となります。

全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。

※長時間の録音を行うと変換に時間がかかる場合があります。

※パソコンの環境により、音の録音品質は異なります。

パソコン上の音がそのまま録音されるので、動作音なども一緒に録音される場合があります。

※録音するにはパソコン内で再生されている音声を録音できる機能が必要になります。

※五線譜などの楽譜を作成する機能はございません。

※CDリッピングツールのCDドライブを開く、閉じるはパソコンの環境によって使用できない場合があります。

※CDリッピングツールで読み込むことができるCDは、コピープロテクションが施されていないものに対応しています。

■サポートについて

※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。

また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。

予めご了承ください。

※パソコン本体等の各種ハードウェア、各種ソフトウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては

各メーカーに直接お問い合わせください。

※著作権法を厳守してご利用ください。著作権により保護されている音楽・音声データ等を本製品で使用したことにより生じたトラブルに関しましては一切責任を負いかねます。

■その他

※本ソフトを著作者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。

改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。

※本ソフトのソフトウェアの再配布・貸与・レンタル・中古品としての取引は禁止します。

※本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。

※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。

また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。

その他

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標又は商標です。IntelはIntel Corporationの登録商標または商標です。

Mac OSはApple Inc.の商標です。

その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、商標又は登録商標です。

著作者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で変更・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。

本製品は、株式会社アイアールティーのオリジナル製品です。

インストール方法とアンインストール方法

インストール方法

お使いのパソコンに『誰でもできる耳コピソフト2』をインストールします。

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

インストール時には、ハードディスクの空き容量が1GB以上必要（左記以外にデータ保存の為の空き容量が別途必要）です。

○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウィルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。
※Windows OSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。

1 本ソフトのCD-ROMをCD-ROMドライブに入れてください。

CD-ROMが認識されたら、自動でセットアップが始まります。右のような画面が表示されましたら、**次へ**ボタンをクリックしてください。

パソコンの設定によっては自動でセットアップが始まらない場合があります。

その場合は、[コンピューター]→[CDまたはDVDドライブ]→[SETUP.EXE]をダブルクリックしてください。

※Windows XPの場合は[マイコンピュータ]、

Windows Vistaの場合は[コンピュータ]



2 使用許諾契約の内容を確認してください。

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ**ボタンをクリックしてください。



3 インストール先のフォルダーを確認してください。

この画面からインストール先を選択できます。

インストール先を変更しない場合は **次へ** ボタンをクリック、
インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックしてください。

※通常は、インストール先を変更しなくとも結構です。



インストール方法とアンインストール方法

4 設定の内容を確認してください。

確認用の画面が表示されます。
よろしければ **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。



5 インストール完了！

インストールが正常に終了すると右のような画面が表示されますので **完了** ボタンをクリックしてください。



インストール方法とアンインストール方法

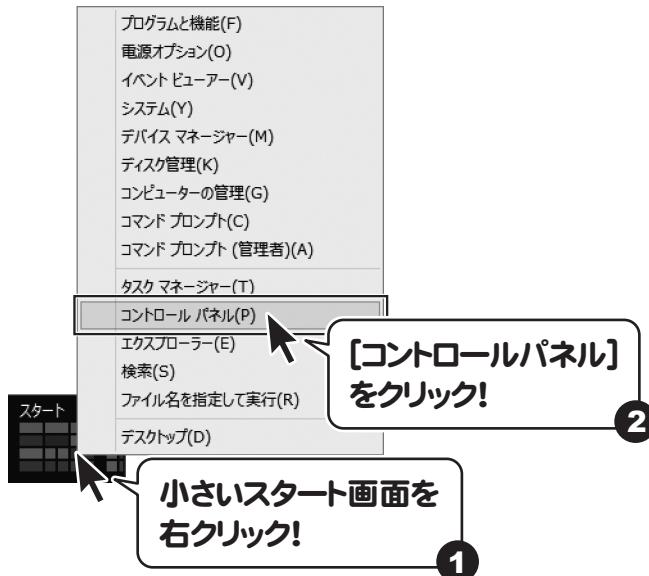
アンインストール方法

お使いのパソコンから『誰でもできる耳コピソフト2』をアンインストール（削除）します。

本ソフトを完全に終了して、
タスクバーの左下あたりにマウスカーソルを合わせます。



小さいスタート画面が表示されますので、右クリックをして、表示されるメニューから



「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で
一覧表示されるプログラムの中から「誰でもできる耳コピソフト2」を選択して「アンインストール」を
クリックすると、確認メッセージが表示されますので、[はい] ボタンをクリックするとアンインストールが
実行されます。

※Windows OSが7の場合、 ボタン→「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストール」を選択してアンインストールを行ってください。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストールと変更」を選択してアンインストールを行ってください。

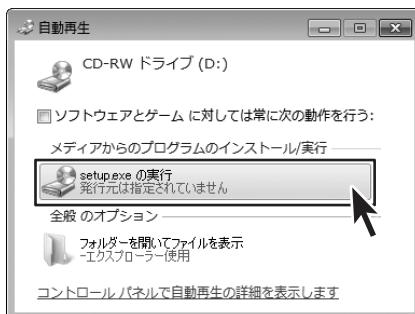
※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を
選択してアンインストールを行ってください。

インストール方法とアンインストール方法

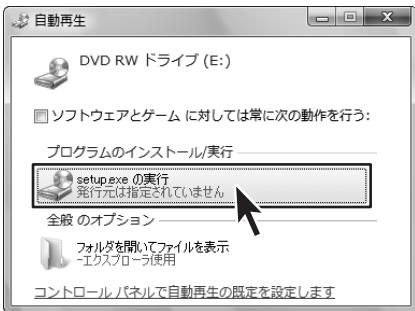
インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合
次の手順で作業を続けてください。



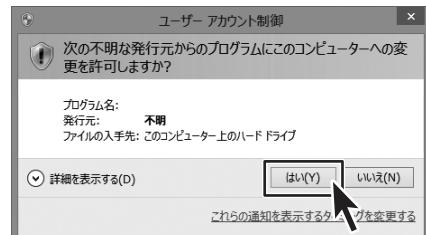
Windows 8、8.1で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。

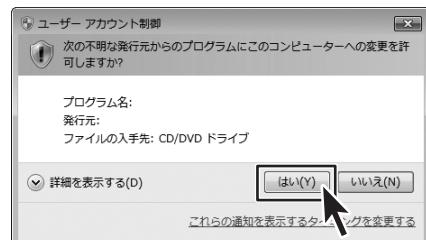


Windows Vistaで[自動再生]画面が
表示された場合
[setup.exeの実行]をクリックしてください。



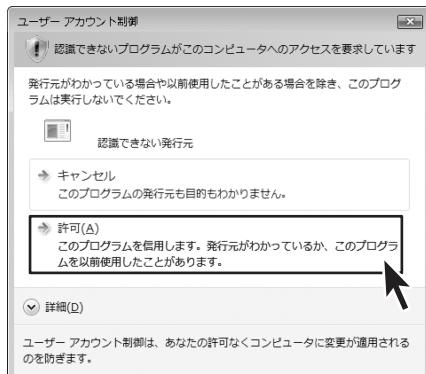
Windows 8、8.1で[ユーザー アカウント制御]画面が
表示された場合

はい ボタンをクリックしてください。



Windows 7で[ユーザー アカウント制御]画面が
表示された場合

はい ボタンをクリックしてください。



Windows Vistaで[ユーザー アカウント制御]画面が
表示された場合

【許可】をクリックしてください。

起動方法

より良い環境でソフトを使用していただくために、IRTホームページ（<http://irtnet.jp/>）をご確認いただき、アップデートを行うことをおすすめいたします。アップデートはソフト上で発生している問題等の修正や、より使いやすく改良が行われている場合があります。

スタート画面（Windows 8、8.1）からの起動



タスクバーの左下あたりにマウスカーソルをあわせます。



小さいスタート画面が表示されますので、クリックをします。



スタート画面が表示されますので、スタート画面上で右クリックして、**「すべてのアプリ」**をクリックして「IRT」→「誰でもできる耳コピソフト2」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

起動方法

スタートメニュー(Windows XP、Windows Vista、Windows 7)からの起動



デスクトップ左下の



ボタン(Windows Vistaの場合は



ボタン、Windows XPの場合は[スタート]ボタン)をクリックして

「すべてのプログラム」→「IRT」→「誰でもできる耳コピソフト2」→「誰でもできる耳コピソフト2」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

デスクトップショートカットからの起動

本ソフトをインストールすると、デスクトップ上に「誰でもできる耳コピソフト2」のショートカットアイコンが作成されます。



誰でもできる
耳コピソフト
2

誰でもできる耳コピソフト2
デスクトップショートカットアイコン



CDリッピング
ツール

CDリッピングツール
デスクトップショートカットアイコン



ファイル変換
ツール

ファイル変換ツール
デスクトップショートカットアイコン

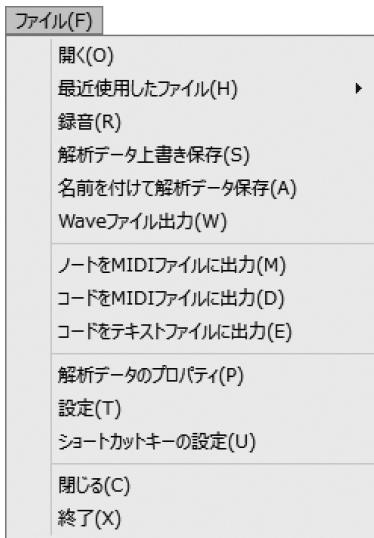
画面・各部の説明

メイン画面

「誰でもできる耳コピソフト2」を起動(方法は7~8ページ参照)すると下のような画面が表示されます。



1 メニューバー



開く

パソコンに保存されている音声ファイルを開いてデータを解析します。

最近使用したファイル

最近開いた音声ファイル名をリスト表示します。

ファイル名を選択してクリックすると、音声ファイルが開きます。

録音

録音[停止]画面を表示します。

詳細は19ページをご参照ください。

解析データ上書き保存

解析データを元のファイルに上書き保存します。(拡張子.dms)

名前を付けて解析データ保存

名前を付けて解析データを保存します。(拡張子.dms)

Waveファイル出力

編集した音声ファイルをWaveファイルに保存します。

ノートをMIDIファイルに出力

ノートデータをMIDIファイルに出力します。(拡張子.mid)

コードをMIDIファイルに出力

コードデータをMIDIファイルに出力します。(拡張子.mid)

コードをテキストファイルに出力

コードデータをテキストファイルに出力します。(拡張子.txt)

画面・各部の説明

ファイル(F)
開く(O)
最近使用したファイル(H)
録音(R)
解析データ上書き保存(S)
名前を付けて解析データ保存(A)
Waveファイル出力(W)
ノートをMIDIファイルに出力(M)
コードをMIDIファイルに出力(D)
コードをテキストファイルに出力(E)
解析データのプロパティ(P)
設定(T)
ショートカットキーの設定(U)
閉じる(C)
終了(X)

ファイルメニュー

編集(E)
ノート編集モード(O)
ペンツール(N)
選択ツール(S)
元に戻す(U)
やり直し(R)
ノート 切り取り(T)
ノート コピー(C)
ノート 貼り付け(P)
ノート 削除(D)
ノート すべて選択(A)
クオンタイズ(Q)
ラベル追加(L)
ラベルへ移動(M)
ラベル削除(E)

編集メニュー

解析データのプロパティ

解析データのプロパティ画面を表示します。

詳細は、19ページをご参照ください。

設定

設定画面を表示します。

詳細は、21~22ページをご参照ください。

ショートカットキーの設定

ショートカットキーの設定画面を表示します。

詳細は、23ページをご参照ください。

閉じる

現在開いているファイルを閉じます。

終了

「誰でもできる耳コピソフト2」を終了します。

ノート編集モード

ノートを編集する画面になります。

ペンツール

ノート編集モードの時に、グラフ上でマウスをドラッグ&ドロップしてノートを配置、編集します。

選択ツール

ノート編集モードの時にグラフ上で指定した範囲のノートを選択します。選択ツールボタンをクリックすると、 矩形選択ツール、時間選択ツール、音階選択ツールに切り替わります。

元に戻す

行なった作業を取り消して元に戻します。

やり直し

「元に戻す」で戻した作業をやり直します。

ノート 切り取り

選択しているノートを切り取ります。

ノート コピー

選択しているノートをコピーします。

ノート 貼り付け

コピーしたノートを貼り付けます。

ノート 削除

選択しているノートを削除します。

ノート すべて選択

選択しているトラックのノートすべてを選択します。

クォンタイズ

指定した音符の長さでノートの編集を行います。

画面・各部の説明

編集(E)

ノート編集モード(O)
ペンツール(N)
選択ツール(S)
元に戻す(U)
やり直し(R)
ノート 切り取り(T)
ノート コピー(C)
ノート 貼り付け(P)
ノート 削除(D)
ノート すべて選択(A)
クオタインズ(Q)
ラベル追加(L)
ラベルへ移動(M)
ラベル削除(E)

ラベル追加

グラフ上をクリックして、再生位置を示すピンクの縦線のところでラベルを追加します。

ラベルへ移動

設定しているラベルの一覧が表示されますので、移動したい再生位置のラベルを選択します。

ラベル削除

設定しているラベルの一覧が表示されますので、削除したいラベルを選択します。

編集メニュー

再生(P)

前のラベルに移動(V)
停止(S)
前回再生位置から再生(L)
再生/一時停止(P)
次のラベルに移動(N)
グラフクリックで発音(D)
コード再生(C)
リピート再生(R)
オートスクロール(A)
同期(Y)

再生メニュー

前のラベルに移動

現時点より、前のラベルへ移動します。

前にラベルを設定していなければ、5秒前へ移動します。

停止

再生を停止し、停止位置まで戻ります。

停止位置の定義は、設定画面(21ページ)で設定します。

前回再生位置から再生

停止位置から再生します。

停止位置の定義は、設定画面(21ページ)で設定します。

再生/一時停止

再生:音楽ファイルを再生します。一時停止した位置から再生します。

一時停止:再生中の状態を一時停止します。

次のラベルに移動

現時点より、次のラベルへ移動します。

その先にラベルを設定していなければ、5秒後へ移動します。

グラフクリックで発音

グラフ上でクリックした音階の音を鳴らします。

MIDI音量がゼロになっていると鳴りません。

コード再生

音楽ファイルを再生中に、コードを再生します。

MIDI音量がゼロになっていると鳴りません。

リピート再生

リピート再生します。

オートスクロール

再生中の曲にあわせて自動でページを送り、グラフを表示します。

同期

シーケンサー等と同期して再生します。

画面・各部の説明

解析(A)

- テンポ解析(T)
- キー解析(K)
- コード検出(C)
- 自動採譜(A)

解析メニュー

テンポ解析

テンポ解析をグラフで表示します。

キー解析

全体のキー解析、リピート区間のキー解析をグラフ表示します。

コード検出

コード検出する設定画面を表示し、検出位置、検出対象のコードなどを設定し、コードを検出します。

自動採譜

自動採譜画面を表示し、採譜する感度、音階の範囲などを設定して、自動採譜します。

表示(V)

時間方向に拡大(I)

時間方向に縮小(E)

音階方向に拡大(N)

音階方向に縮小(O)

基本周波数(F)

小節,拍単位(B)



音階のハイライト(L)

倍音(H)



グリッド(G)

ディグリーネーム(D)



リズム、キートラック(R)

テンポトラック(T)

コードトラック(C)

MIDIトラック(M)

表示メニュー

時間方向に拡大

グラフを時間方向(横)に拡大表示します。

時間方向に縮小

グラフを時間方向(横)に縮小表示します。

音階方向に拡大

グラフを音階方向(縦)に拡大表示します。

音階方向に縮小

グラフを音階方向(縦)に縮小表示します。

基本周波数

ピアノロール表示から周波数のグラフ表示に変わります。

表示するには、解析画面(詳細は20ページ)で

「基本周波数を解析」にチェックを入れます。

小節,拍単位

時間表示を小節番号、拍単位に切り替えて表示します。

音階のハイライト

グラフ上のカーソルの位置の音階をハイライト表示します。

倍音

グラフ上のカーソルの位置の音をピアノロールで倍音表示します。

何倍音表示をするかは、設定画面(詳細は21ページ)で設定します。

グリッド

グラフをグリッド表示します。

ディグリーネーム

コード表示で、ディグリーネームを表示します。

リズム、キートラック

リズム、キートラックを表示します。

テンポトラック

テンポトラックを表示します。

コードトラック

コードトラックを表示します。

MIDIトラック

MIDIトラックリストを表示します。

画面・各部の説明

ヘルプ(H)

- バージョン情報(I)
- オールサウンドオフ(O)
- ボリュームコントロールを開く(V)
- 録音コントロールを開く(R)

ヘルプメニュー

バージョン情報

「誰でもできる耳コピソフト2」のバージョン情報を表示します。

オールサウンドオフ

発音中の音すべてを消音します。

ボリュームコントロールを開く

ボリュームコントロールの設定画面を表示します。

デバイス、アプリケーションの音量を設定します。

録音コントロールを開く

サウンドの設定画面を表示し、録音デバイス等を設定します。

2 ツールボタン

前のラベルへ移動

現時点より、前のラベルへ移動します。
前にラベルを設定していなければ、5秒前へ移動します。

前回再生位置から再生

停止位置から再生します。
停止位置の定義は、設定画面(21ページ)で、
先頭または前回再生開始位置に設定できます。

次のラベルに移動

現時点より、次のラベルへ移動します。
その後にラベルを設定していなければ、5秒後へ
移動します。

時間方向に縮小

グラフを時間方向(横)に縮小表示します。

音階方向に縮小

グラフを音階方向(縦)に縮小表示します。

倍音

グラフ上のマウスポインターの位置の音を
ピアノロールで倍音表示します。何倍音表示を
するかは、設定画面で設定します。

グラフクリックで発音

グラフ上でクリックした音階の音を鳴らします。
MIDI音量がゼロになっていると鳴りません。

オートスクロール

再生中の曲にあわせて自動でページを送り、
グラフを表示します

停止

再生を停止し、停止位置まで戻ります。
停止位置の定義は、設定画面(21ページ)で、
先頭または前回再生開始位置に設定できます。

再生/一時停止

再生: 音楽ファイルを再生します。
一時停止した位置から再生します。
一時停止: 再生中の状態を一時停止します。

時間方向に拡大

グラフを時間方向(横)に拡大表示します。

音階方向に拡大

グラフを音階方向(縦)に拡大表示します。

音階のハイライト

グラフ上のマウスポインターの位置の音階を
ハイライト表示します。

同期

シーケンサー等と同期して再生します。

コード再生

音楽ファイルを再生中に、コードを再生します。
MIDI音量がゼロになっていると鳴りません。

リピート再生

リピート再生します。

画面・各部の説明



ノート編集モード

ノートを編集する画面になります。



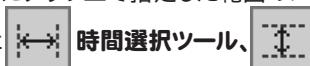
ペンツール

ノート編集モードの時に、グラフ上でマウスをドラッグ＆ドロップしてノートを作成、編集します。



選択ツール(矩形選択ツール)

ノート編集モードの時にグラフ上で指定した範囲のノートを選択します。



ボタンをクリックすると 時間選択ツール、 音階選択ツールに切り替わります。



クオントライズ

指定した音符の長さでノートの編集を行います。



MIDIトラック

MIDIトラックリストを表示します。



基本周波数

基本周波数のグラフを表示します。

表示するには、解析画面で「基本周波数を解析」にチェックを入れます。



テンポトラック

テンポトラックを表示します。



リズム、キートラック

リズム、キートラックを表示します。



3

再生位置時間/小節・拍単位/コード/周波数表示

00:06:300

004:01:576

B6

1975.5Hz

再生位置

再生位置の時間を表示します。

小節,拍単位

再生位置の小節番号、拍単位を表示します。

コード

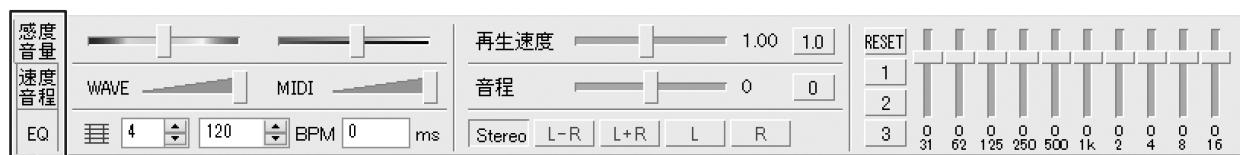
グラフ上のマウスカーソルの位置のコードを表示します。

周波数

グラフ上のマウスカーソルの位置の周波数を表示します。

4

感度音量/速度音量/EQ (イコライザ) タブ



タブをクリックして、左側にくるパネルを選択することができます。

画面・各部の説明

感度音量タブ



感度

グラフの感度を0~100の値で調整します。数値が高いほど感度が上がります。

※感度を最大にしてもグラフが暗い場合は、設定の「感度のスケール」で変更できます。

コントラスト

グラフの感度コントラストを0~100の値で調整します。コントラストを100にすると倍音を除去し、基音のみを表示します。ただし、音源が単音でないときは正確に除去できません。

WAVE音量

音源ファイル(wav)の音量を0~100の値で調整します。数値が高いほど、音量が大きくなります。

MIDI音量

MIDIファイル(mid)の音量を0~100の値で調整します。数値が高いほど、音量が大きくなります。

小節,拍単位でグリッド表示

小節番号、時間表示を切り替えてグリッド表示します。

小節

何拍子かを数値設定します。

テンポ

テンポ設定した数値が表示されます。

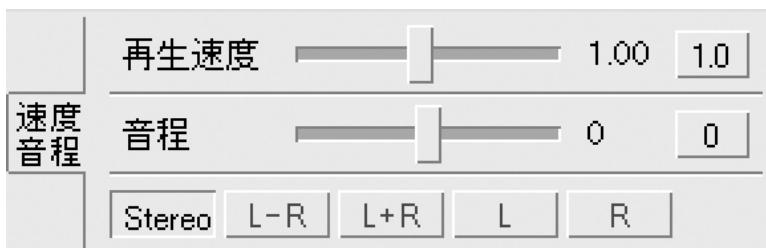
基準時間

テンポを設定時、第1小節1拍目の基準時間を表示します。

[Shift]キーと[Ctrl]キーを押しながら[スペース]キーを押すと、0.01BPM単位で テンポを解析します。

画面・各部の説明

速度音量タブ



再生速度

再生速度を設定します。1/10倍速までの遅まわし、2倍速までの早まわしができます。

再生速度を変更した音声は、リアルタイムで聴くことができ、Waveファイルに出力できます。

音程

-12から+12の値で音程を変更します。

音程を変更した音声は、リアルタイムで聴くことができ、Waveファイルに出力できます。

Stereo L-R L+R L R

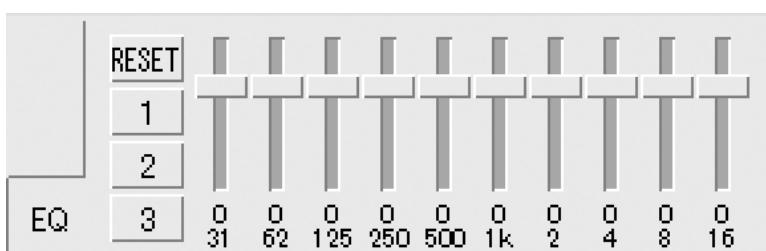
ボタンを押して、選択したチャンネルを音声をリアルタイムで聴くことができ、Waveファイルに出力できます。

Stereo: L,Rを別々に解析して平均をとります。同位相、逆位相の音も表示されます。

L-R: 左右の差音声 L+R: 左右(L,R)の混合音声 L: 左の音声 R: 右の音声

※L-Rに設定すると、ボーカルなどのセンター成分が消えます。

感度音量/速度音量/EQ (イコライザ) タブ



イコライザの設定をします。

RESET ボタンを押すとイコライザの設定をリセットします。

数字のボタン[1][2][3]はイコライザのプリセットです。

[Ctrl]キーを押しながらボタンを押すと、現在の設定を登録できます。

数字のボタンをクリックすると、プリセットが適用されます。

イコライザの登録方法については、69ページをご参考ください。

画面・各部の説明

5 各種トラック表示

ラベルトラック	00:01:175
時間・小節番号	0:000 00:01:000 00:02:000 00:03:000 00:04:000 00:05:000 00:06:000 00:07:000
リズムトラック	リズム 4 C
テンポトラック	テンポ 120
コードトラック	コード

ラベルトラック

ラベルを表示します。ダブルクリックでラベルの追加、右クリックでラベルの追加・編集・削除を行います。

時間・小節番号

時間、小節番号を表示します。ボタンで、時間表示と小節番号の表示が切り替わります。

ダブルクリックすると、その位置から音楽が再生されます。

リズムトラック

リズムを表示します。ダブルクリックでリズムの追加、右クリックでリズムの追加・編集・削除を行います。

テンポトラック

テンポを表示します。ダブルクリックでテンポの追加、右クリックでテンポの追加・編集・削除を行います。

コードトラック

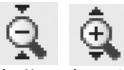
コードを表示します。クリックすると、その位置のコードを鳴らします。

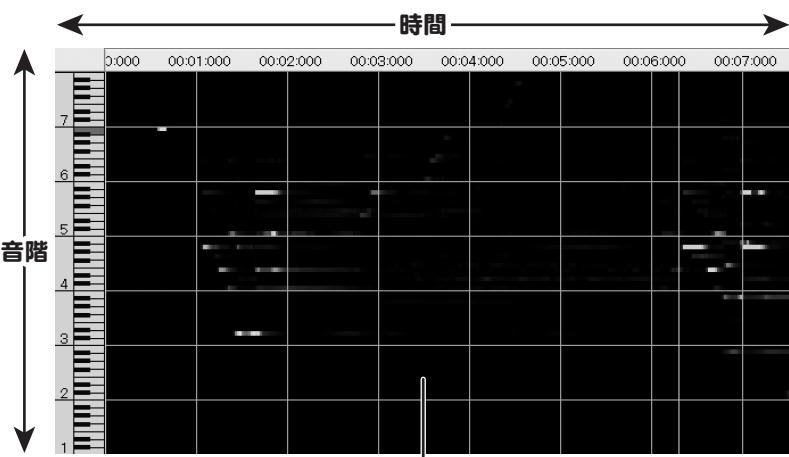
右クリックすると、表示されるサブメニューのコード候補のなかからコードを変更、またはコード名を入力することができます。

コード名をダブルクリックすると、直接コードを入力して変更できます。

6 グラフ表示

 ボタンをクリックすると、
時間の表示を拡大、縮小します。

 ボタンをクリックすると、
音階の表示を拡大、縮小します。



グラフ内の表示は、音量の大きさで色表示されています。

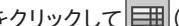
黒が、最も音が小さく、次に青→水色→緑→黄色→オレンジ→赤の順に音量が大きくなります。

画面・各部の説明

7 MIDI トラックリスト

Track	*	R	M	S
01	*			S
02	*		M	
03	*	R		
04	*			
05	*			
06	*			
07	*			
08	*			
09	*			
10	*			
11	*			
12	*			
13	*			
14	*			
15	*			
16	*			

「表示」メニューから「MIDIトラック」にチェックを入れるか、

ボタンをクリックして  (青色) にします。

画面左側にMIDIトラックリストが表示されます。

トラックのデータをグラフに表示します。

クリックして、*マークを非表示にすると、グラフ上にそのトラックのノートデータは表示されません。

R

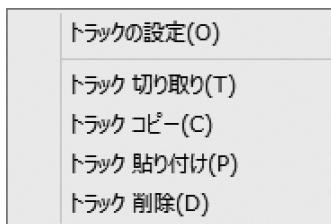
リアルタイムレコーディングを有効にします。

M

トラックの音を無音にします。(ミュート)

S

トラックの音をソロ再生します。



右クリックメニュー

MIDIトラックリスト上で右クリックすると表示されます。

トラックの設定

色が濃く表示されている選択中のトラックの設定を行います。

トラック切り取り

選択中のトラックのMIDIデータを切り取ります。

トラックコピー

選択中のトラックのMIDIデータをコピーします。

トラック貼り付け

選択中のトラックにMIDIデータを貼り付けます。

トラック削除

選択中のトラックのMIDIデータを削除します。



トラックの設定画面

右クリックメニューから、トラックの設定をクリックすると表示されます。

トラック名

トラック名を表示します。名称を入力して変更できます。

音色

設定中のトラックの音色を▼をクリックして選択します。

ボリューム

1~127の値でボリュームを設定します。

パン

1~127の値でパンを設定します。

OK

設定した内容を有効にします。

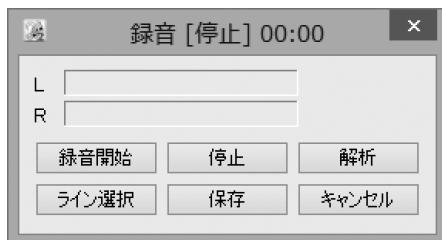
キャンセル

設定した内容を取り消します。

画面・各部の説明

録音[停止]画面

「ファイル」メニュー →「録音」



L/R

録音中のL,Rの音量レベルを表示します。

録音開始

録音を開始します。

停止

録音を停止します。

解析

録音したデータの解析設定をして、解析を始めます。

ライン選択

録音するラインを選択し、ボリューム等を調整します。

保存

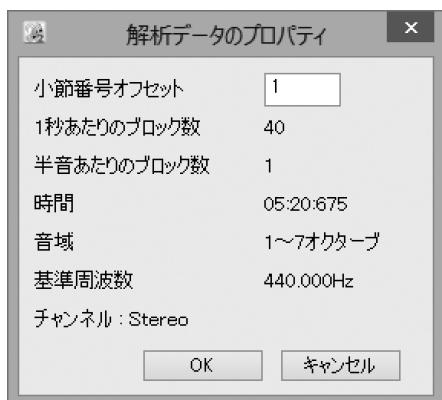
録音したデータを保存します。(Waveファイル)

キャンセル

録音作業を取り消します。

解析データのプロパティ画面

「ファイル」メニュー →「解析データのプロパティ」



小節番号オフセット

入力した数値でオフセットし、小節番号を表示します。

1秒あたりのブロック数

1秒あたりのブロック数を表示します。

半音あたりのブロック数

半音あたりのブロック数を表示します。

時間

解析した音声ファイルの時間を表示します。

音域

解析した音域を表示します。

基準周波数

解析時の基本周波数を表示します。

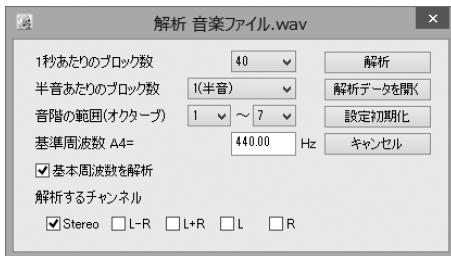
チャンネル

解析したチャンネルを表示します。

画面・各部の説明

解析画面

音声ファイルを開くと表示されます。(24~26ページをご参照ください)



1秒あたりのブロック数

1秒間あたりのブロック数を指定します。

この値を大きくすると、より細かい時間単位で解析します。

半音あたりのブロック数

1を指定すると半音単位、5を指定すると20セント単位、10を指定すると10セント単位で解析します。

※セント(単位)

音程を示す単位で、1オクターブが1200セントと定義されています。「平均律」の場合、半音は12分の1の100セント、全音は200セントになります。

音階の範囲(オクターブ)

解析する音階の範囲を設定します。

基準周波数

基準周波数を設定します。

通常は変更する必要はありません。

基本周波数を解析

チェックを入れると、基本周波数(ピッチ)を1セント単位で解析します。

解析するチャンネル

Stereo、L-R、L+R、L、Rから解析するチャンネルを選択します。

解析

ファイルの解析を実行します。

解析データを開く

すでに解析しているデータを開きます。(拡張子 .dms)

設定初期化

設定した項目を、設定前の初期状態に戻します。

キャンセル

ファイルの解析をキャンセルします。

画面・各部の説明

設定画面

「ファイル」メニュー →「設定」



MIDIデバイス

▼をクリックして、MIDIデバイスを選択します。

音色

▼をクリックして、選択しているチャンネルの音色を選択します。

チャンネル

▼をクリックして、設定するチャンネルを指定します。

発音補正時間

ノート、コードの発音が遅れる時など、発音時間を補正します。

100ミリ秒に設定すると、100ミリ秒早く発音します。

MTCスレーブ

MTCマスターに対応している同期機能を使用するときに設定します。

フレームレート 補正

フレームレートをミリ秒単位で補正します。

再生デバイス

▼をクリックして、再生デバイスを指定します。

録音デバイス

▼をクリックして、録音デバイスを指定します。

サンプリングレート

▼をクリックして、サンプリング基本周波数を設定します。

ビット数

8bit、または16bitに設定します。

チャンネル

モノラル、またはステレオに設定します。

オートスクロール方式

▼をクリックして、オートスクロールの際の表示方法を設定します。

停止位置

停止位置の定義を、先頭または前回再生開始位置に設定します。

グラフの色

音量の大きさを表示する色、グラフの色を設定します。

▼をクリックして表示される色から選択して設定します。

音階名表示方式

音階名の表示方式を設定します。

感度のスケール

感度のスケールを2倍、4倍、8倍まで設定できます。

倍音表示

倍音表示時に、何倍音まで表示するかを設定します。

スペースキーで再生/一時停止

チェックを入れると、スペースキーで再生、一時停止ができます。

ノート編集時にグラフを暗くする

チェックを入れると、ノート編集モード時にグラフのトーンを暗くします。

音量が大きい音階の鍵盤を強調表示

チェックを入れると、再生時に音量が大きい音階の鍵盤を色表示します。

画面・各部の説明



リアルタイム入力したノートの音階を自動設定

キーボードなどでリアルタイム入力したノートの音階を自動設定します。

再生開始時にオートスクロールをONにする

チェックを入れると、再生する時にオートスクロールを有効にします。

基本周波数画面を上下にオートスクロール

チェックを入れると、再生時に基本周波数画面を上下にオートスクロールします。

マウスジェスチャーを使用する

チェックを入れると、マウスジェスチャーを有効にします。

マウスジェスチャー有効時に右クリックを発音しない

マウスジェスチャーを有効時、右クリックの動作を発音しないようにします。

解析設定をスキップ

音声ファイルを開く時に、解析設定画面を表示せずに前回の設定で解析を行います。

オートセーブ 分ごと

チェックを入れると、編集中のデータを入力した時間ごとに定期的に自動保存します。

保存先は、Windows 8、Windows 8.1、Windows 7、Windows Vistaの場合、コンピュータ→Cドライブ→Users→(ユーザー名)→AppData(※)→Local→Temp→mimicopy2_tmpフォルダー内に保存します。

Windows XPの場合、マイコンピュータ→Cドライブ→Documents and Settings→(ユーザー名)→Local Settings(※)→Temp→mimicopy2_tmpフォルダー内に保存します。

※初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

OK

設定した内容を有効にします。

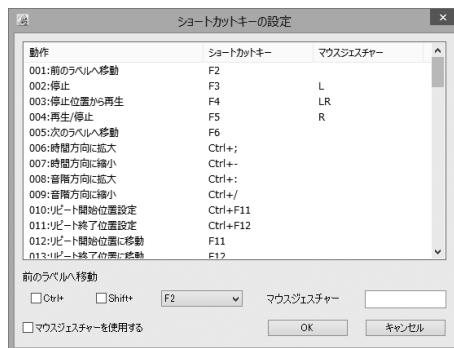
キャンセル

設定した内容を取り消します。

画面・各部の説明

ショートカットキーの設定画面

「ファイル」メニュー →「ショートカットキーの設定」



動作

ショートカット、マウスジェスチャーする動作の一覧を表示します。

ショートカットキー

動作のショートカットキーを表示します。

マウスジェスチャー

動作のマウスジェスチャーを表示します。

Ctrl +

チェックを入れると、Ctrlキーを押しながら指定したキーを押します。

Shift +

チェックを入れると、Shiftキーを押しながら指定したキーを押します。

動作一覧で設定する項目を選択し、▼をクリックして

ショートカットキーを設定します。

マウスジェスチャー

上(U)下(D)左(L)右(R)を「UDLR」で指定してください。

マウスジェスチャーを使用する

チェックボックスにチェックを入れるとマウスジェスチャーを使用できます。

メイン画面で、マウスの右ボタンを押しながらドラッグ操作ができます。

OK

設定した内容を有効にします。

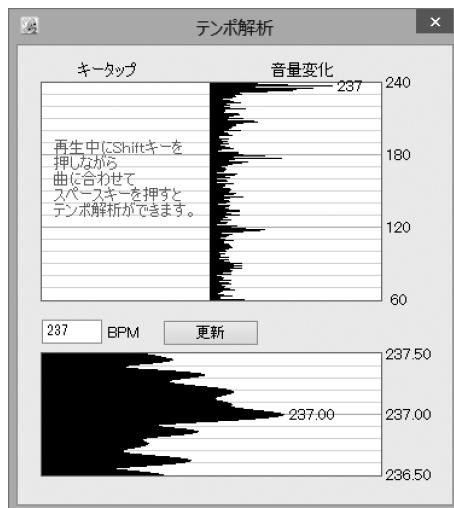
キャンセル

設定、変更した内容を取り消します。

画面・各部の説明

テンポ解析画面

「解析」メニュー →「テンポ解析」



キータップ

再生中に[Shift]キーを押しながら、曲に合わせて[スペース]キーを押すと、テンポが解析され、その数値が表示されます。

音量変化

自動検出されたテンポが初期値として表示されます。

237 **BPM**

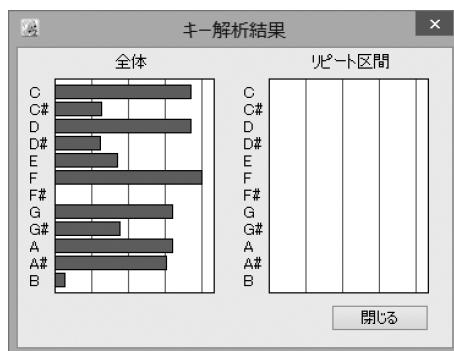
テンポの数値を入力します。

更新

入力したテンポを解析グラフで表示します。

キー解析結果画面

「解析」メニュー →「キー解析」



グラフのバーが長いほど、そのキーである可能性が高いことを示します。

全体

音声ファイル全体のキー解析結果を棒グラフで表示します。

リピート区間

リピート区間のキー解析結果を棒グラフで表示します。

閉じる

キー解析結果グラフを閉じます。

画面・各部の説明

コード検出画面

「解析」メニュー →「コード検出」



検出位置

テンポ解析した小節、拍数の位置で検出します。

スケール上のコードを優先

大きい値に設定すると、スケール上のコードが出やすくなります。

※曲の途中でキー変わる曲には使用できません。

検出対象のコード

検出対象のコードにチェックを入れます。

OK

設定した内容でコードを検出します。

適用

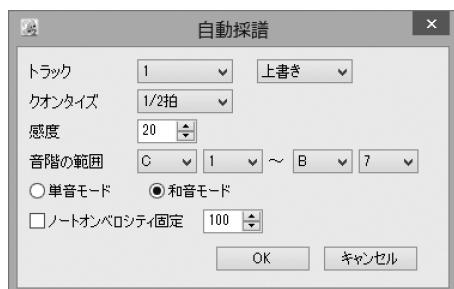
設定した内容を適用します。

キャンセル

設定した内容を取り消します。

自動採譜画面

「解析」メニュー →「自動採譜」



トラック

ノートを配置するトラック番号を指定して、ノートデータを上書きするか、追加するかを選択します。

クオンタイズ

1拍、1/2拍、1 / 4拍から設定します。

感度

採譜する感度を200までの数値で設定します。

音階の範囲

採譜する音階の範囲を設定します。

単音モード 和音モード

単音、和音で採譜するかを選択します。

□ノートオンペロシティ固定

チェックを入れると、数値設定した一定の音量で音声ファイルを認識します。

OK

設定した内容で自動採譜を実行します。

キャンセル

設定した内容を取り消し、自動採譜を行わずに設定画面を閉じます。

基本の操作

音楽ファイルを開いて解析する

1 開く音楽ファイルを選択します

「誰でもできる耳コピソフト2」を起動しましたら、（起動方法は、7~8ページをご参照ください。）右図のようなメイン画面が表示されますので、

「ファイル」メニューから「開く」を選択します。

ファイルを選択する画面が表示されますので、ファイルの保存場所を選択し、ファイルを選択後、開くボタンをクリックしてください。

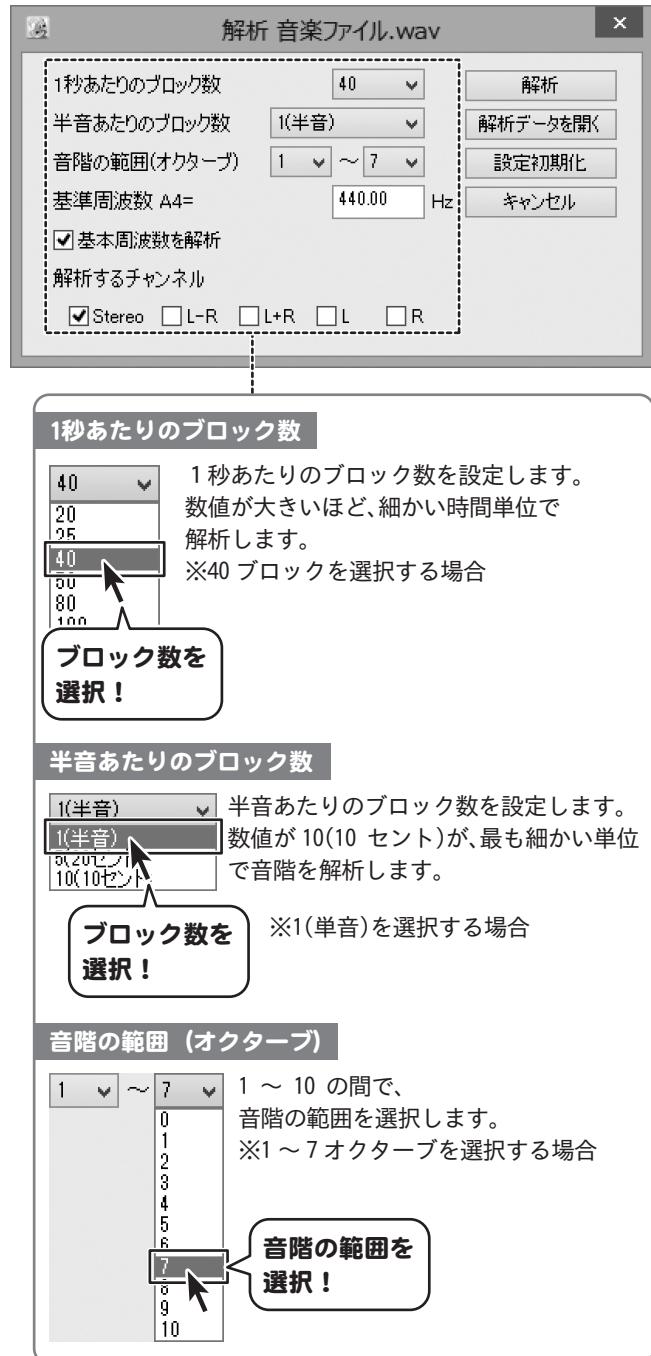
開くことができるファイルは、WAVEファイルです。
MP3, M4A, AACファイルは、付属の「ファイル変換ツール」で、WAVEファイルに変換してください。
詳細は、82~84ページをご参照ください。



基本の操作

2 音楽ファイルを解析します

音楽ファイルが選択できましたら、
解析画面が表示されますので、
音楽ファイルを解析する設定をします。
各項目の設定が終わりましたら、
解析ボタンをクリックしてください。
解析がはじまります。
解析が終わると、解析グラフが表示
されます。



基本の操作



基本周波数を解析

基本周波数を解析

基本周波数を解析する場合はチェック！

チェックを入れると、基本周波数を解析し、グラフ表示します。

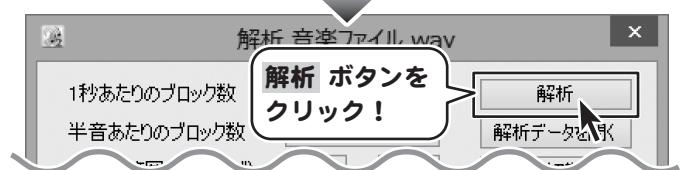
解析するチャンネル

Stereo L-R L+R

解析するチャンネルにチェック！

解析するチャンネルを選択します。

※Stereo チャンネルを解析する場合



解析グラフが表示されました！

解析中 33% 完了

基本の操作

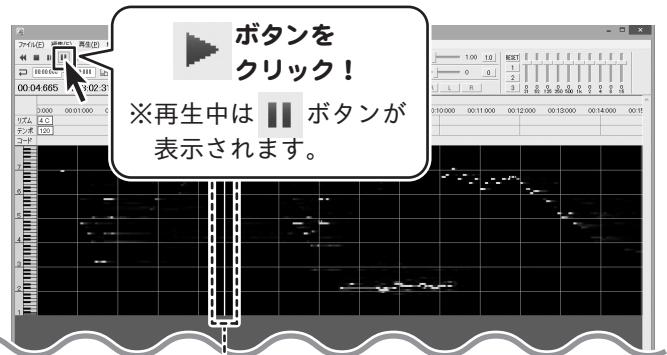
再生する

▶ ボタンをクリックしますと、曲の再生が開始されます。
再生位置は、ピンクの縦線が表示され、時間軸で移動します。
再生位置は、グラフ上をクリックして移動できます。

⬇️ボタンをクリックして、オートスクロールを有効にすると、再生中の解析グラフを表示するために自動で画面をスクロールします。

時間を指定して再生する

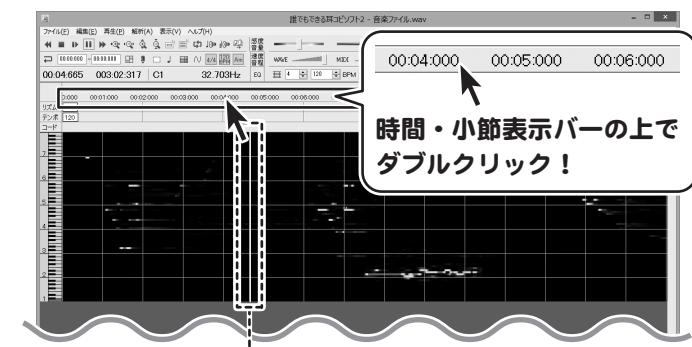
時間・小節表示バーをダブルクリックしますと、ダブルクリックしたところから再生が開始されます。
再生中はダブルクリックしたところに再生位置が移動されます。



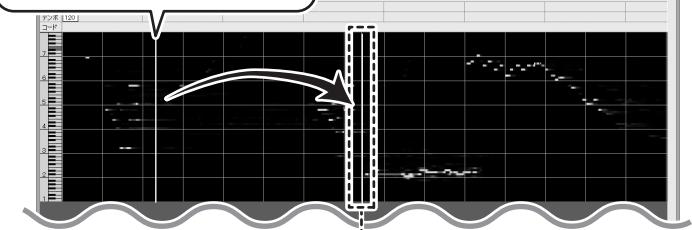
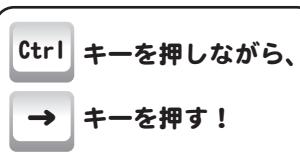
再生位置がピンクの縦線で表示されます。

再生位置をキーボードで移動する

キーボードの[Ctrl]キーを押しながら、[←][→]キー（左右の矢印）を押すと、5秒単位で再生位置を移動します。
再生中も移動して続きから再生することができます。



ダブルクリックした位置から再生が開始されます。



再生位置が5秒移動します。

基本の操作

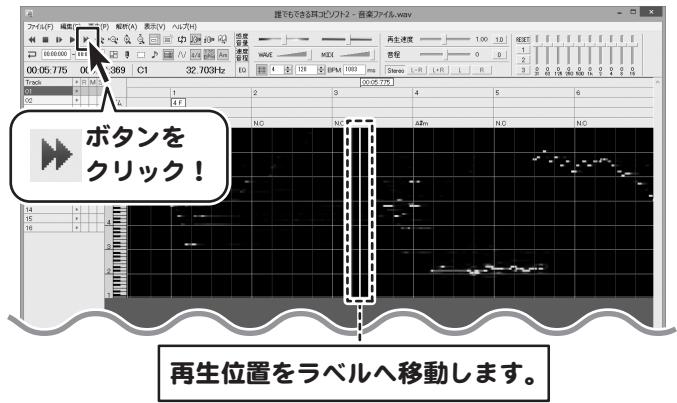
再生位置をラベルへ移動する

ボタンをクリックしますと、再生位置の前後のラベルへ、移動します。再生中も再生位置を移動して、続きから再生することができます。

ラベルを設定していない時に、

ボタンをクリックしますと、再生位置を5秒移動します。

ラベルの設定については、58~61ページをご参照ください



基本の操作

リピート再生する

1 リピート再生を有効にします

ボタンをクリックしますと、

ボタンの色が (青色) になります。
ボタンが青色の時は、リピート再生が有効になります。
ボタンをクリックすると、色が交互に変わりますので、リピート再生の有効・無効を設定してください。

リピート区間を設定していない場合は、曲全体をリピート再生します。

2 リピート区間を設定します

時間・小節表示バーのリピートしたい部分をドラッグしますと、リピート区間が設定されます。

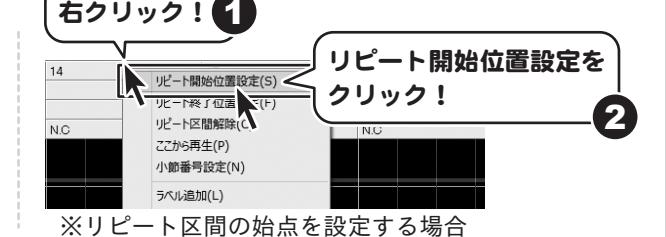
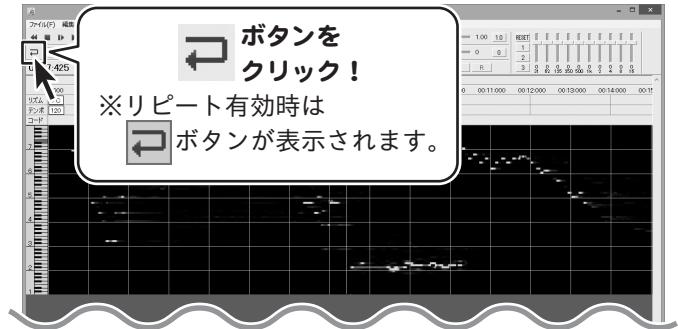
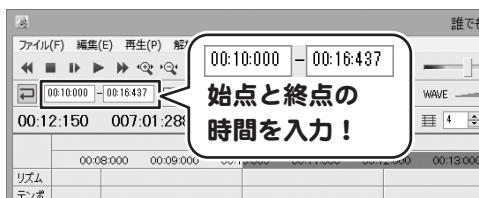
リピート区間の始点は赤い縦線で、リピート区間の終点は緑の縦線で表示されます。

時間・小節表示バーの上でそれぞれの縦線をドラッグしますと、リピート区間の調節ができます。



その他のリピート区間設定方法

リピート区間をドラッグする以外にも、始点と終点の時間を入力したり、右クリックメニューから始点と終点を設定することでリピート区間を設定できます。

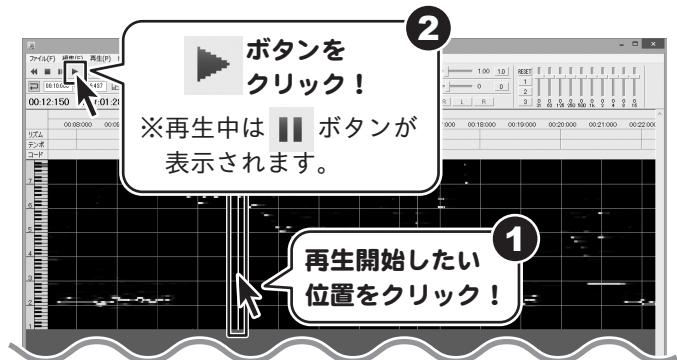


基本の操作

3 リピート再生します

リピート区間が設定できましたら、グラフ表示の再生を開始したい位置を

クリックして、 ボタンを
クリックしますと、再生が開始されます。
再生位置が緑のリピート区間の終点に
つくと、赤のリピート区間の始点に
戻って、リピート再生されます。



リピート区間を解除する

リピート区間を解除するには、右クリックメニューからリピート区間解除を選択します。



採譜をする前に

テンポを設定する

テンポを設定すると、リピート区間の移動、コード検出、自動採譜が小節、拍単位でできるようになります。
※4拍子以外の場合は、テンポを設定する前に拍子の設定をしてください。

1 曲を再生します

ボタンをクリックして、曲の再生を開始します。



2 テンポを設定します

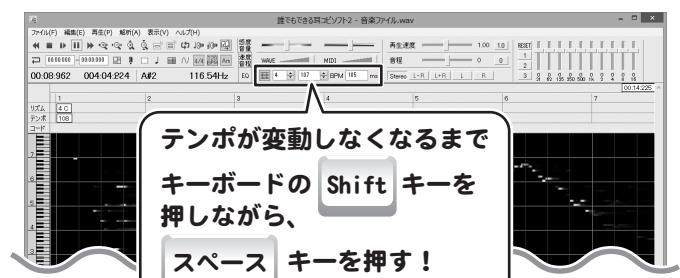
再生される曲のリズムに合わせて、
「Shift」キーを押しながら、
「スペース」キーを押します。
曲のテンポと第1小節1拍目の時間が
自動的に設定されます。
テンポが変動しなくなるまで、
キーボードを押し続けます。
数拍で変動しなくなりますが、
曲によっては、1分前後かかることがあります。

「Shift」キーと「Ctrl」キーを
押しながら、「スペース」キーを押すと、
0.01BPM単位でテンポを解析します。

4 122.50 BPM 1003 ms

ボタンを
クリック！

テンポが変動しなくなるまで
キーボードの Shift キーを
押しながら、
スペース キーを押す！



4 116 BPM 1584 ms
 4 118 BPM 260 ms

4 119 BPM 462 ms
 4 119 BPM 462 ms
 4 119 BPM 462 ms

テンポが変動しなくなったらテンポ設定完了

採譜をする前に

コードを検出する

曲のコードを指定拍数ごとに検出することができます。

(コードを検出する前にテンポを設定しておいてください。テンポの設定は33ページをご参照ください。)

1 コードトラックを表示します

コードを検出する際に、テンポの設定が必要です。(33ページをご覧ください。)

Am ボタンをクリックします、

ボタンの色が **Am** (青色) になり、コードトラックが表示されます。



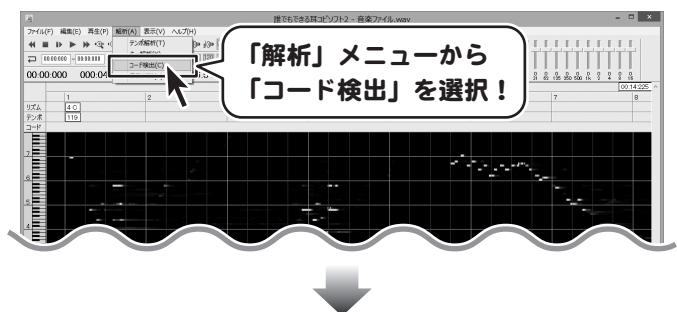
2 コードを検出します

「解析」メニューから「コード検出」を選択します。

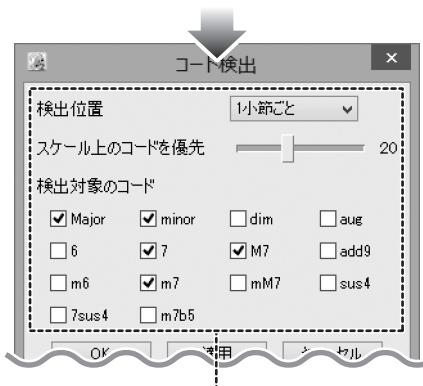
コード検出画面が表示されますので、各項目を設定し、OK ボタンをクリックしてきます。

設定した内容で、コードが検出されます。

※テンポ、第1小節1拍目の時間を変更した場合は、データは自動更新されませんので、再度コード検出を行なってください。



採譜をする前に



検出位置

1小節ごと

1拍ごと

2拍ごと

1小節ごと

コードの検出位置を、
1小節ごと、1拍ごと、2拍ごとから
選択します。

検出位置を選択！

※1 小節ごとを選択する場合

	1	2
リズム	4 C	
テンポ	119	
コード	N.C	N.C

	1	2
リズム	4 C	
テンポ	119	
コード	N.C	Am

	1	2
リズム	4 C	
テンポ	119	
コード	N.C	N.C

スケール上のコードを優先

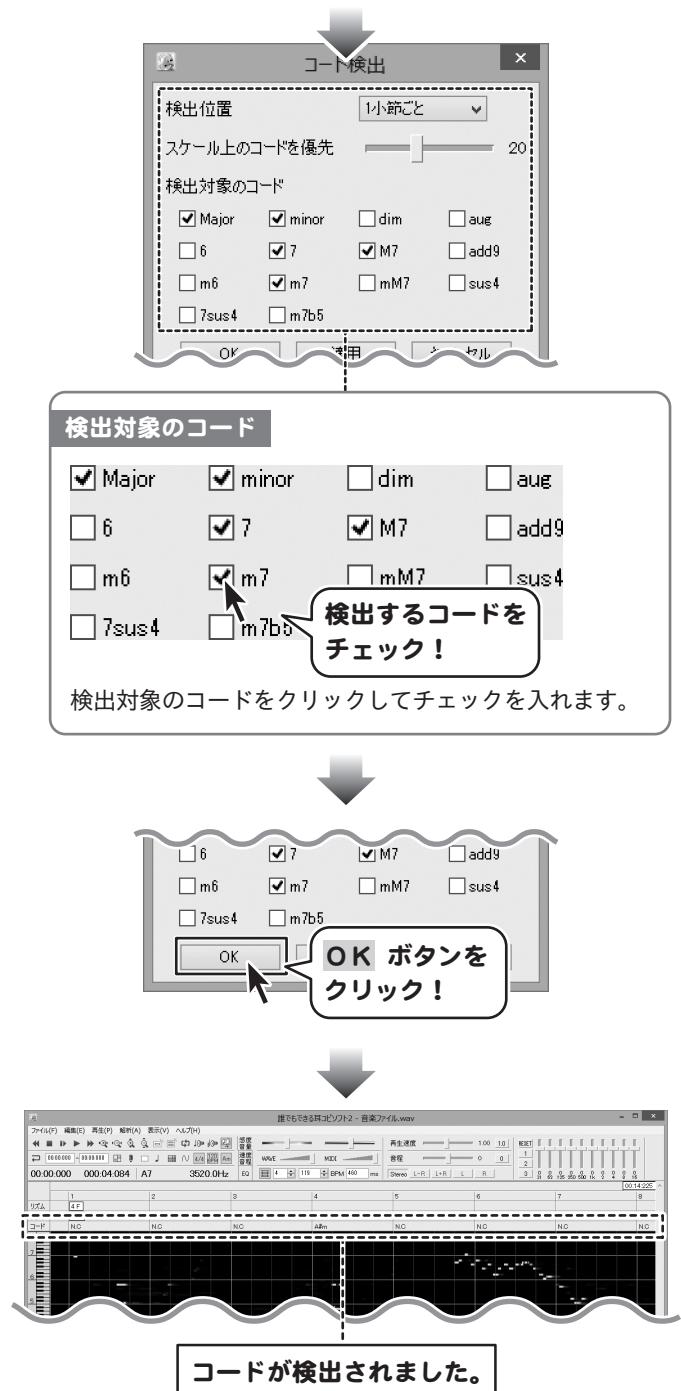
スケール上のコードを優先

20

つまみをドラッグして
優先する度合いを設定！

大きい値にするとスケール上のコードが出やすくなります。
※曲の途中でキーが変わる曲には使用できません。

採譜をする前に

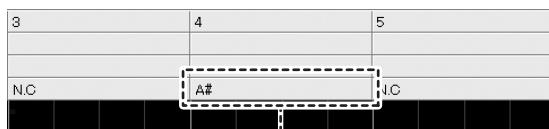


採譜をする前に

コードを編集する

検出されたコードは手動で編集することができます。

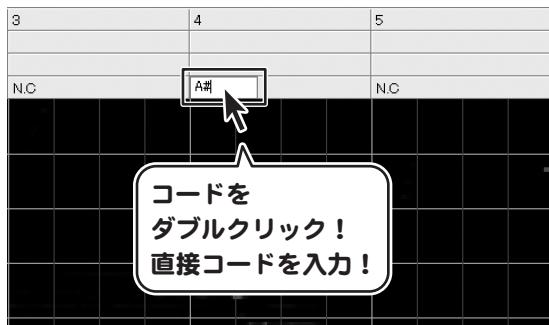
変更したいコードトラックの上で右クリックすると、コードの候補が表示されますので、コードを選択すると、変更されます。
コードの候補は、上から第一候補になります。



コードが変更されました。

直接コードを入力する

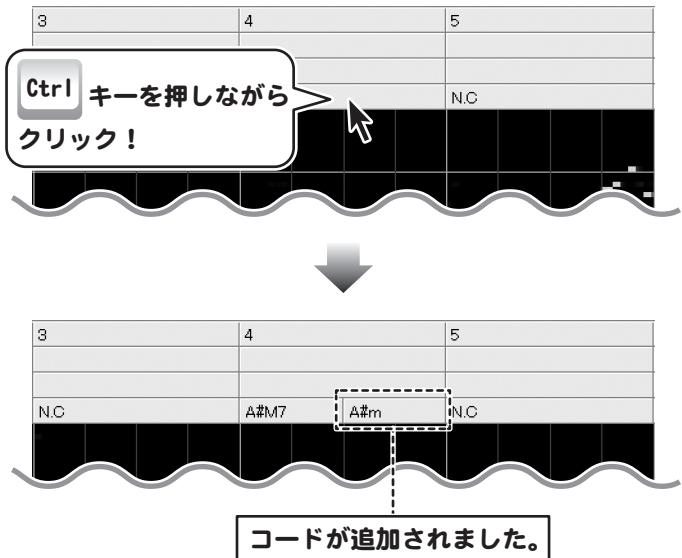
コード名をダブルクリックするとコード名を直接入力することができます。



採譜をする前に

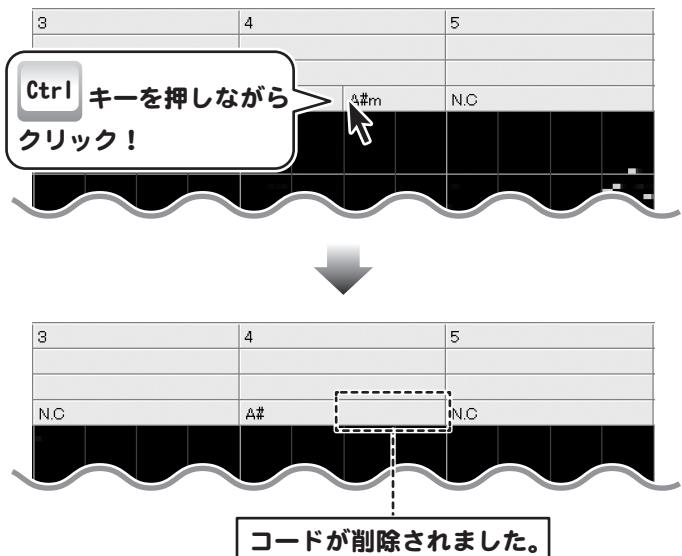
コードを追加する

キーボードの[Ctrl]キーを押しながらコードトラックのコードが表示されていない部分をクリックすると、その位置にコードを追加します。



コードを削除する

キーボードの[Ctrl]キーを押しながらコードトラックの削除するコードをクリックすると、その位置のコードを削除します。



採譜をする

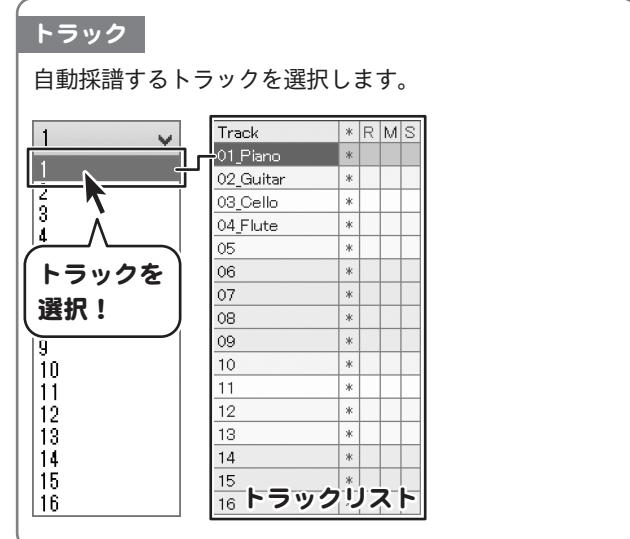
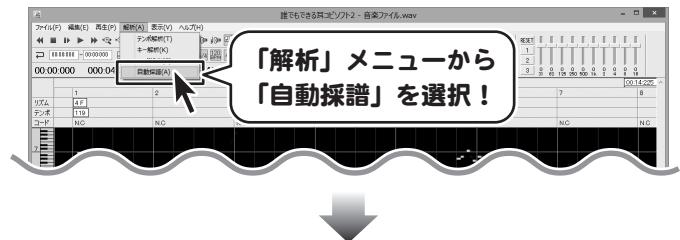
自動採譜する

自動的に採譜を行い、指定したトラックに追加、上書きします。

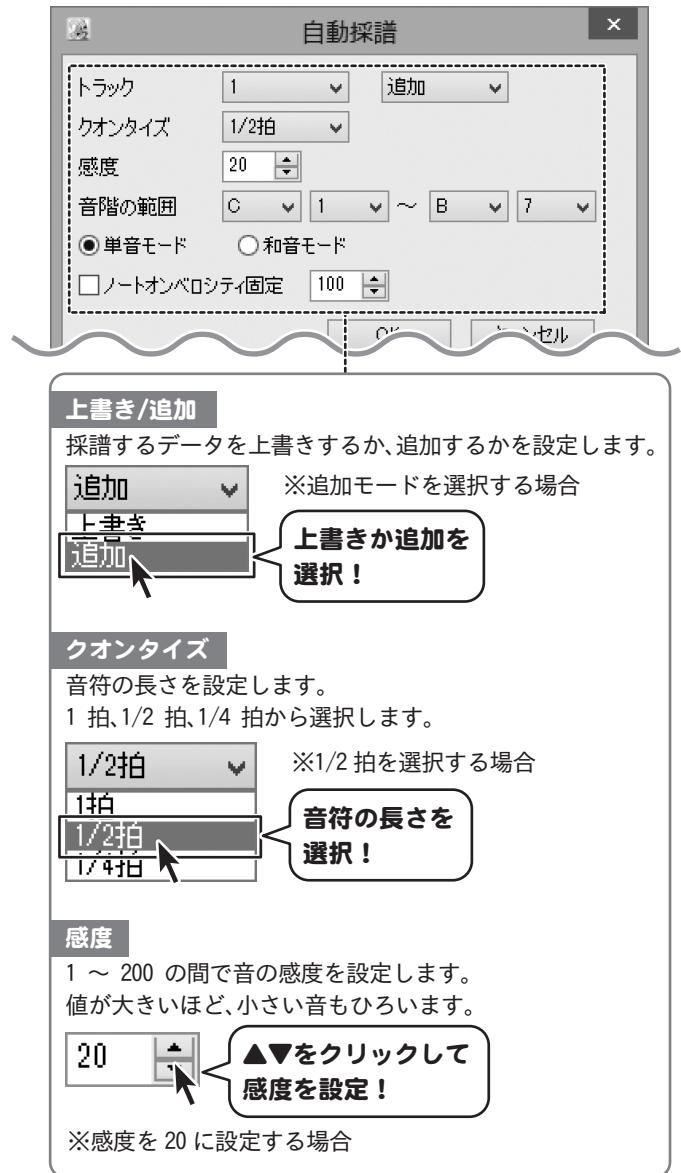
(自動採譜をする前にテンポを設定しておいてください。テンポの設定は33ページをご参照ください。)

1 自動採譜をする

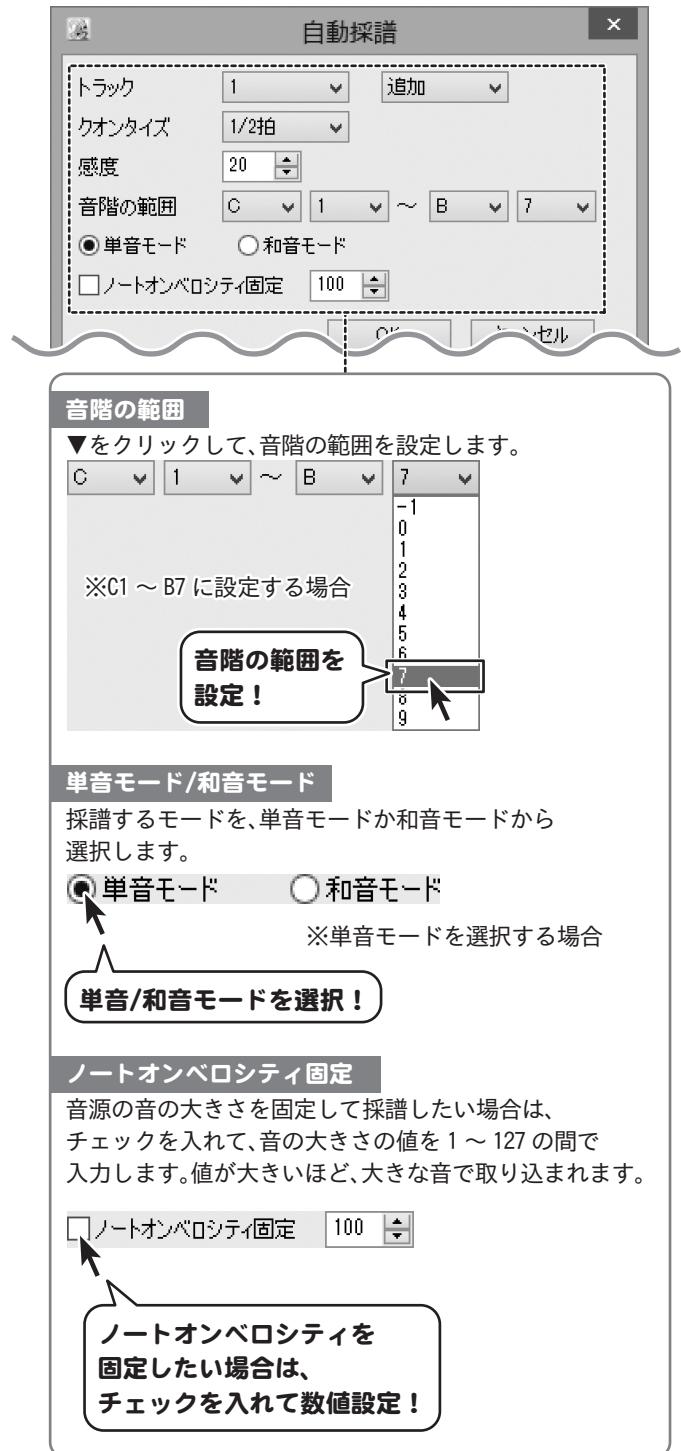
メニューバーの「解析」メニューから「自動採譜」を選択します。
自動採譜画面が表示されますので、各項目を設定し、OKボタンをクリックします。



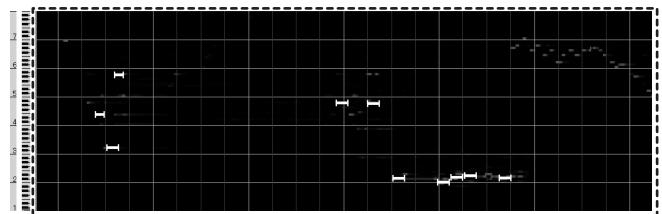
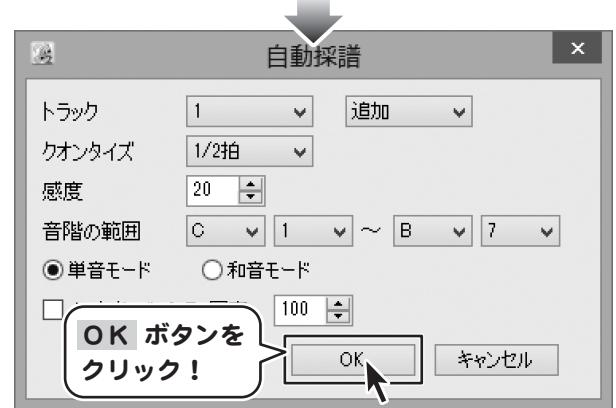
採譜をする



採譜をする



採譜をする



自動採譜され、ノートが入力されました

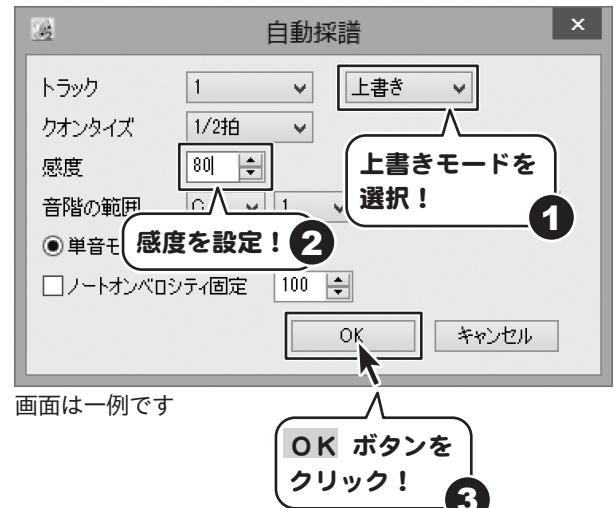
2 自動採譜の調整をする

音が正しく採譜されなかった場合には、再度自動採譜を行います。

詳しい手順は 39 ~ 42 ページまでの手順をご参照ください。

音を多く採譜してしまった時は、自動採譜画面で、感度の値を下げる上書きで自動採譜します。

小さい音を採譜できなかった時は、自動採譜画面で、感度の値を上げて上書きで自動採譜します。



採譜をする

ノートを配置、編集する

解析結果のグラフ上でノートを配置、調整を行います。

音声ファイルとの同時再生、編集したノートを MIDI ファイルへ出力できます。

1 ノート編集モードにします



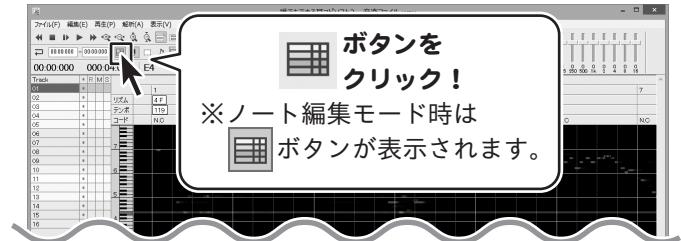
ボタンをクリックして、ボタンの色を



(青色)にし、ノート編集モードに
変更します。

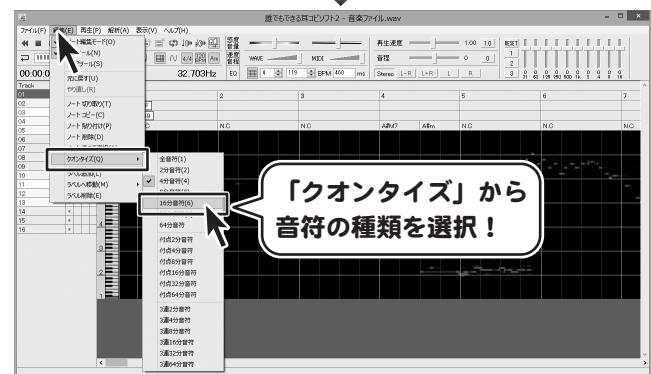
青色のボタンの時は、グラフが暗くなり、
ノートの編集ができます。

ボタンをクリックすると、色が交互に変わり、
表示モードが切り替わります。



2 配置する音符の長さを設定します

メニューバーの「編集」メニューの
「クオンタイズ」から、音符を選択します。



採譜をする

3 発音機能とハイライト表示を有効にします

発音機能を有効にする

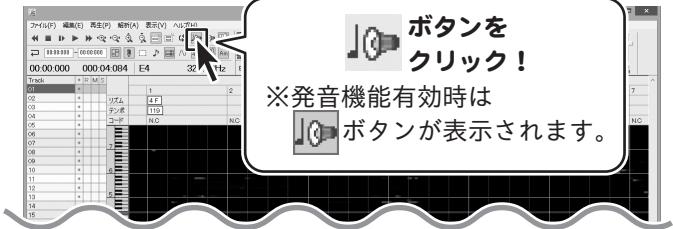


ボタンをクリックして、ボタンの色を



(青色)にし、発音機能を有効にします。

青色のボタンの時は、グラフ上で
クリックした位置の音を発音します。
左のピアノロール上で、カーソルの位置の
音階を赤く表示します。



ボタンを
クリック！

※発音機能有効時は
ボタンが表示されます。

ハイライト表示を有効にする



ボタンをクリックして、ボタンの色を



(青色)にし、ハイライト表示を
有効にします。

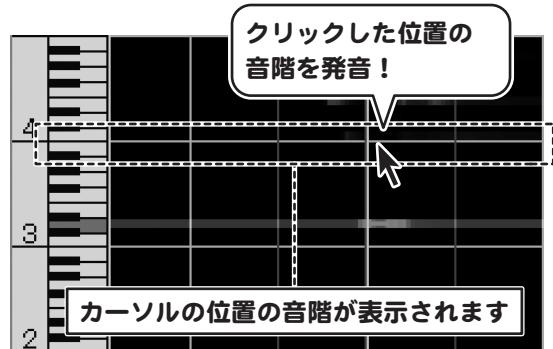
青色のボタンの時は、グラフ上の
カーソルがある位置の音階を、白い線で
ハイライト表示します。



ボタンを
クリック！

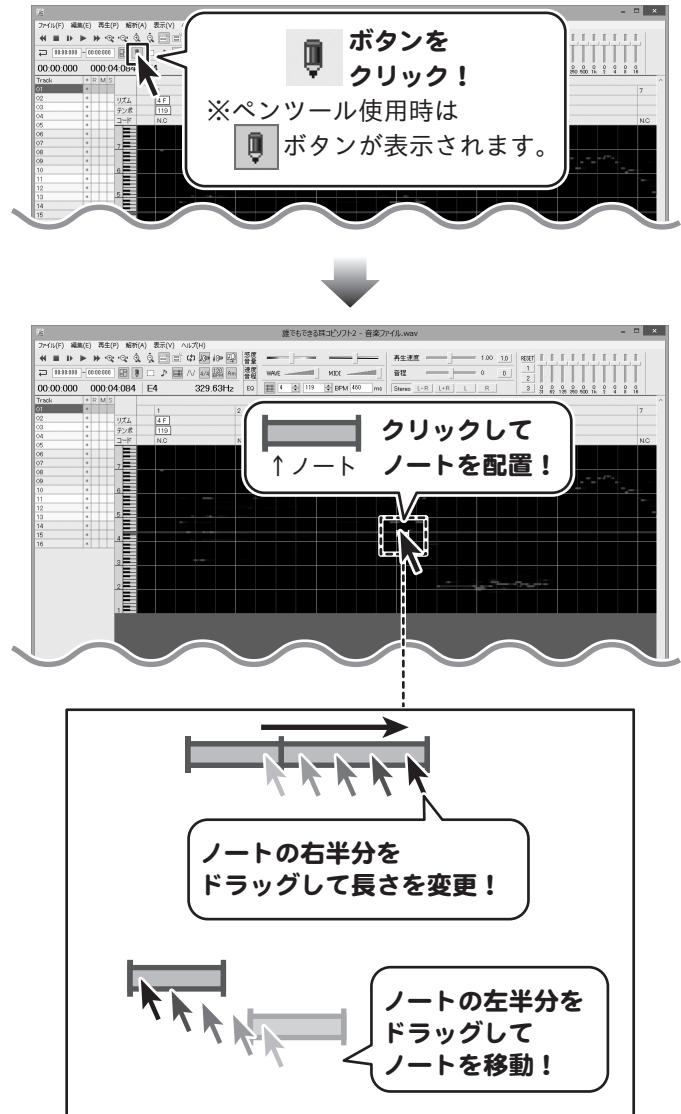
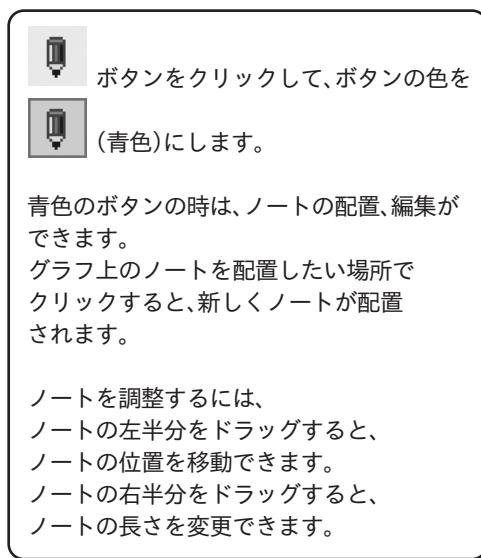
※ハイライト表示有効時は
ボタンが表示されます。

発音機能とハイライト表示が有効に
なりましたら、グラフ上をクリックすると、
クリックした位置の音階を発音します。
カーソルがある位置がハイライト機能により
白く表示され、ピアノロール上でも赤く表示
されるので、音階がわかりやすくなります。



採譜をする

4 ペンツールでノートを配置・調整します



採譜をする

ノートを選択する

配置したノートをまとめて移動したり、コピーしたりする場合にはノートを選択して編集することができます。

1 ノートを選択します

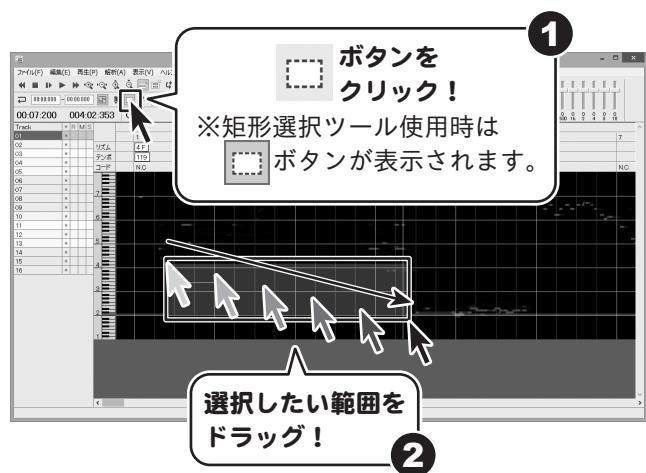
矩形選択ツールでノートを選択する



ボタンをクリックして、ボタンの色を
(青色)にします。

青色のボタンの時は、ノートを矩形で
選択します。

選択開始位置にマウスポインターを
あわせて、対角線方向へドラッグすると
矩形が白く表示され、範囲を選択します。
マウスを離すと、色は消えますが、
選択した範囲は記憶しています。



時間選択ツールでノートを選択する



ボタンをクリックしますと、



ボタン(時間選択ツール)になります。

時間選択ツール使用時は、ノートを
時間軸で選択します。

選択開始位置にマウスポインターを
あわせて、左右の方向へドラッグすると
選択した時間軸の範囲が白くなります。
マウスを離すと、色は消えますが、
選択した範囲は記憶しています。



採譜をする

音階選択ツールでノートを選択する



ボタンをクリックしますと、



ボタン(音階選択ツール)になります。

音階選択ツール使用時は、ノートを音階で選択します。
グラフ上または、ピアノロール上で選択開始位置にマウスポインターをあわせて、上下の方向へドラッグすると選択した音階の範囲が白くなります。
マウスを離すと、色は消えますが、選択した範囲は記憶しています。



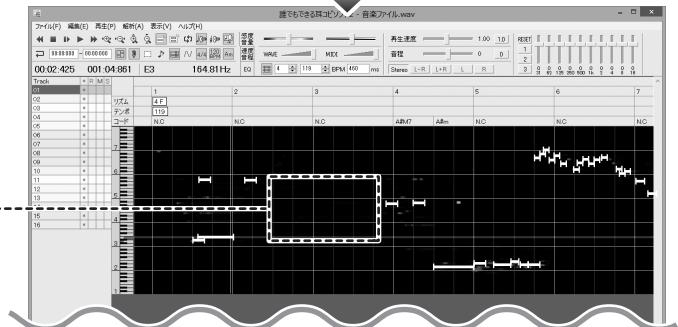
2 選択したノートを編集します

選択したノートを削除する

選択した範囲内のノートを削除する場合は、メニューバーの「編集」メニューから「ノート削除」を選択すると、選択した範囲に配置されているノートが削除されます。



選択範囲のノートが削除されました



採譜をする

選択したノートをコピーする

選択した範囲のノートをコピーする場合は、メニューバーの「編集」メニューから「ノートコピー」を選択すると、選択した範囲に配置されているノートがコピーされます。次に、コピーしたノートを貼り付けたい場所をクリックして再生位置を移動します。再生位置が移動できましたら、「編集」メニューから「ノート貼り付け」を選択すると、選択した範囲のノートを再生位置の付近へ貼り付けます。



ノートの切り取り

「ノートコピー」のかわりに、「ノート切り取り」をクリックしますと、選択したノートが切り取られ、貼り付けを行うことでノートを移動することができます。



選択範囲例



貼り付けたい位置をクリック！

「ノート貼り付け」をクリック！

2



ノートが貼り付けられました



「ノート切り取り」をクリック！

採譜をする

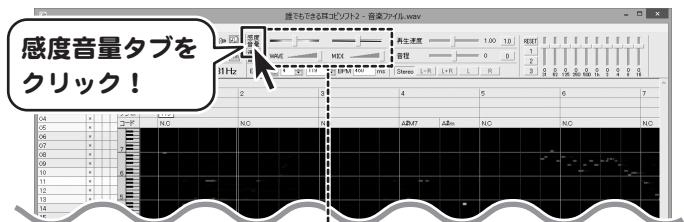
WAVE音量とMIDI音量を調整する

WAVE 音量を調整すると、読み込んだ音楽ファイルの再生音量を調整し、MIDI 音量を調整すると、配置したノートの再生音量を調整することができます。

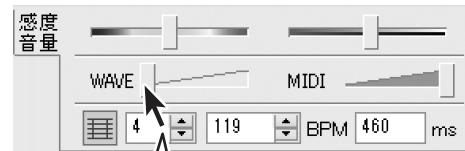
1 開く音楽ファイルを選択します

ノートを編集するときは、解析グラフを元になぞるだけでなく、音声ファイルを同時再生しながらノート編集すると、さらに音をひろい易くなります。ツールボタンの隣にある感度音量タブをクリックします。タブのすぐとなりにWAVE音量とMIDI音量の調整つまみが表示されます。WAVEは、音声ファイルの音量、MIDIは、ノートの音量を調節します。

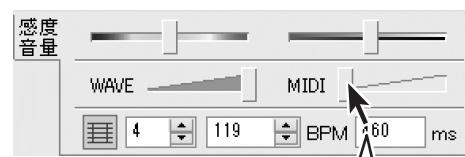
※MIDI音源の特性により、WAVEに比べてノートの発音が遅れることがあります。ノートの発音が遅れるときは、「ファイル」メニューの「設定」で発音補正時間を設定してください。50ミリ秒を指定すると、ノートの発音が50ミリ秒早くなります。



ノートを編集するときなど、音楽ファイルよりもノートの音量を大きくしたいときは



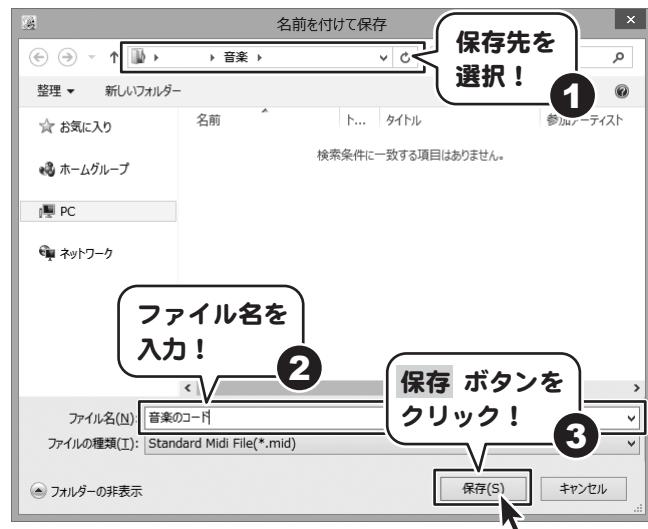
音楽ファイルを調整したいときなど、ノートよりも音楽ファイルの音量を大きくしたいときは



ファイルを出力する

コードをMIDIファイルに出力する

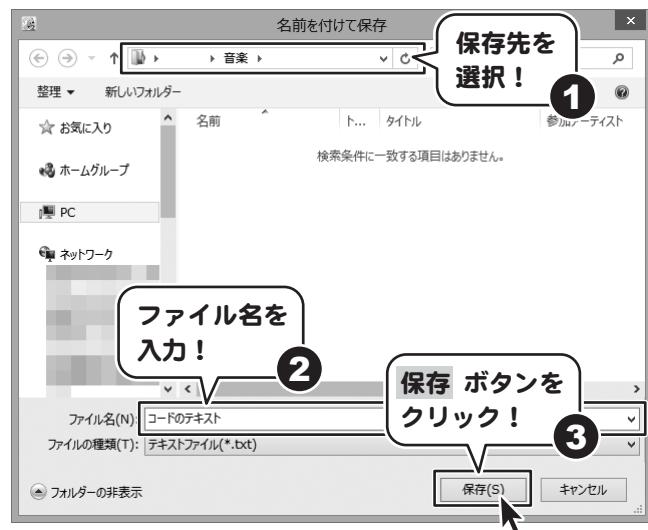
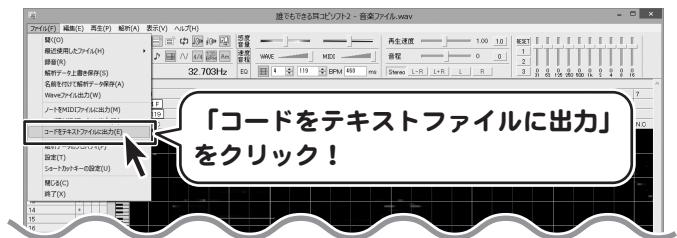
メニューバーの「ファイル」メニューから「コードをMIDIファイルに出力」を選択します。
名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定して、ファイル名を入力しましたら、
保存ボタンをクリックします。



ファイルを出力する

コードをテキストファイルに出力する

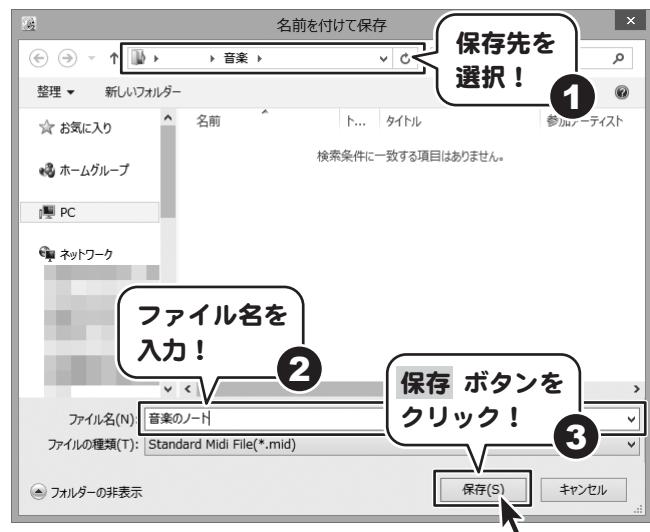
メニューバーの「ファイル」メニューから「コードをテキストファイルに出力」を選択します。
名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定して、ファイル名を入力しましたら、
保存 ボタンをクリックします。



ファイルを出力する

ノートをMIDIファイルに出力する

メニューバーの「ファイル」メニューから「ノートをMIDIファイルに出力」を選択します。
名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定して、ファイル名を入力しましたら、
保存ボタンをクリックします。

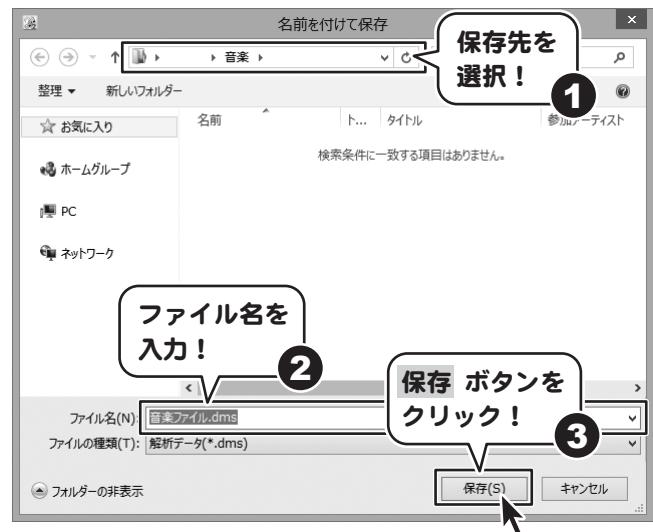
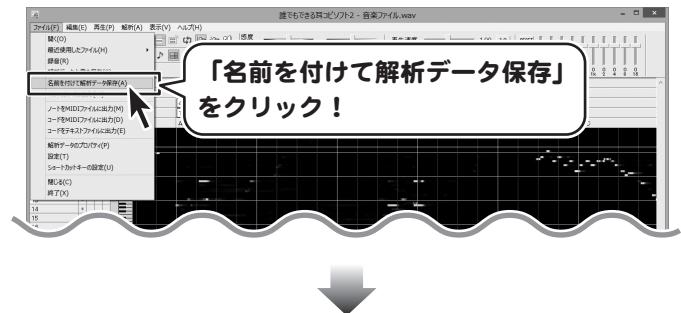


解析データを保存する・聞く

解析データを保存する

解析データを保存しておくと、後で解析データを開くことで耳コピ作業を続きから行うことができます。

解析したデータを保存するには、
「ファイル」メニューから「名前を付けて
解析データ保存」を選択します。
名前を付けて保存画面が表示されますので
データの保存先を指定し、ファイル名を
入力して、**保存**ボタンをクリックしますと、
解析データが保存されます。(拡張子.dms)



解析データを保存する・聞く

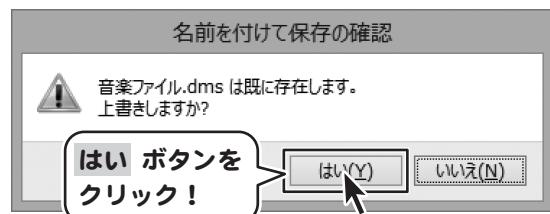
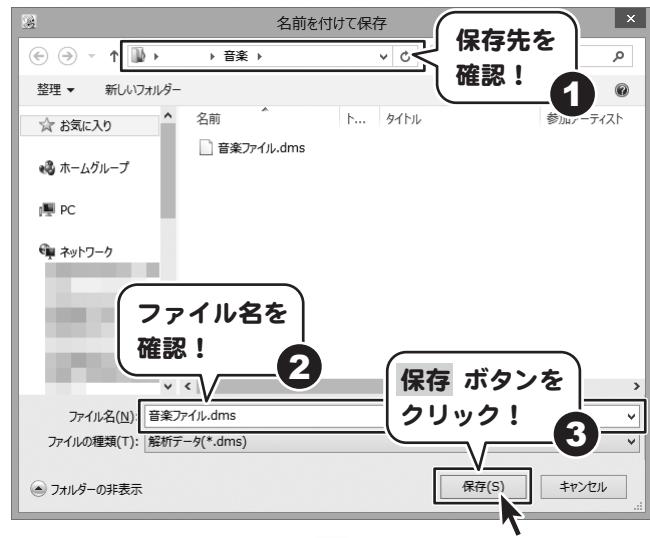
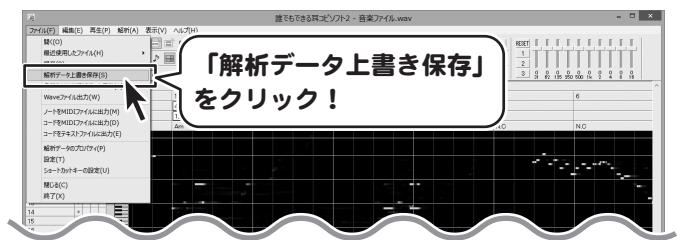
解析データを上書き保存する

開いた解析データを上書き保存するには、「ファイル」メニューから「解析データ上書き保存」を選択します。名前を付けて保存画面が表示されますのでデータの保存先を確認し、ファイル名を確認します。この時、表示されている保存先とファイル名が違っている場合は開いた解析データと同じ場所、同じ名前を入力します。

確認できましたら、**保存**ボタンをクリックします。

名前を付けて保存の確認画面が表示されますので、**はい**ボタンをクリックしますと、解析データが上書きされます。

解析データやソフトを終了せずに、2回目以降に上書き保存するときは、名前を付けて保存画面は表示されずに保存されます。



解析データを保存する・聞く

解析データを開く

保存した解析データを開くことで耳コピ作業を続きから行うことができます。
解析データは耳コピをする音楽ファイルを開く際に、選択して聞くことができます。

1 開く音楽ファイルを選択します

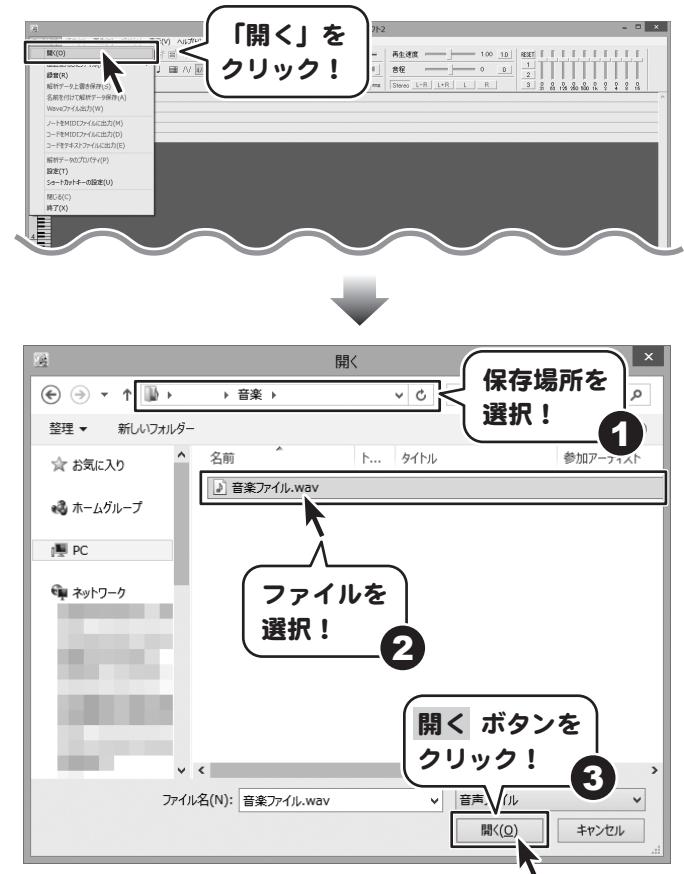
「誰でもできる耳コピソフト2」を起動しましたら、（起動方法は、7~8ページをご参照ください。）

右図のようなメイン画面が表示されますので、

「ファイル」メニューから「聞く」を選択します。

ファイルを選択する画面が表示されますので、ファイルの保存場所を選択し、ファイルを選択後、**聞く**ボタンをクリックしてください。

聞くことができるファイルは、WAVEファイルです。
MP3, M4A, AACファイルは、付属の「ファイル変換ツール」で、WAVEファイルに変換してください。
詳細は、82~84ページをご参照ください。

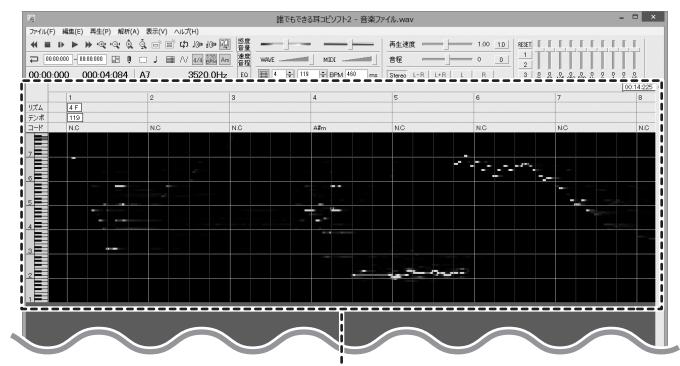
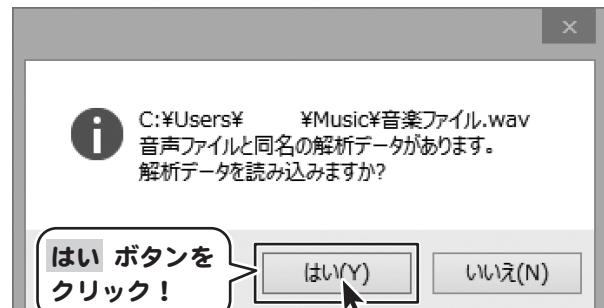


解析データを保存する・開く

2 / 解析データを開きます

同名の解析データを開く

音声ファイルと同じ場所、同じファイル名で解析データを保存した場合は、メッセージ画面が表示されますので、同じファイル名で保存した解析データを読み込む場合は、**はい** ボタンをクリックしますと、ファイルの解析が始まります。



解析データが表示されました

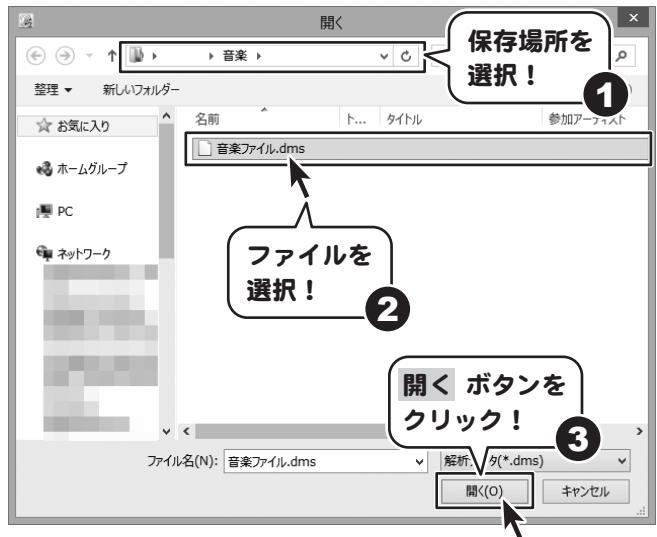
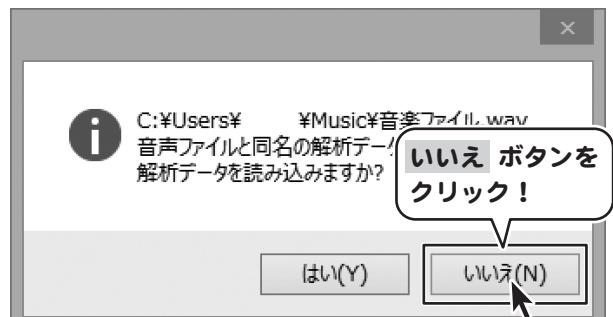
解析データを保存する・聞く

解析画面から解析データを開く

音声ファイルと異なるファイル名で保存した解析データを開く場合は、メッセージ画面で **いいえ** ボタンをクリックし、解析画面を表示します。

解析画面で、**解析データを開く** ボタンをクリックしてください。
ファイルの保存先を指定し、ファイルを選択して、**聞く** ボタンをクリックしますと、ファイルの解析が始まります。

解析画面に解析データ（拡張子.dms）をドラッグ＆ドロップして開くこともできます。



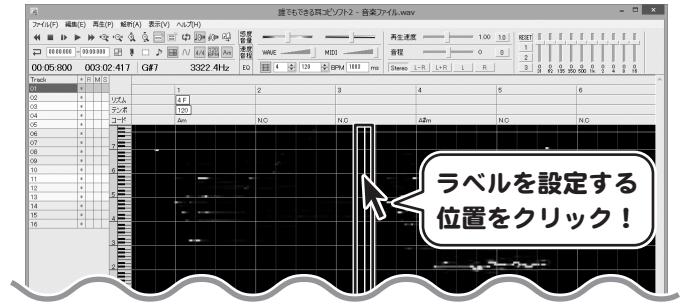
その他の機能

ラベルを設定する

曲の節目やすぐに再生したい位置などにラベルを設定して、設定したラベルの位置へ簡単に移動できる機能です。
ラベル位置への移動については30ページをご覧ください。

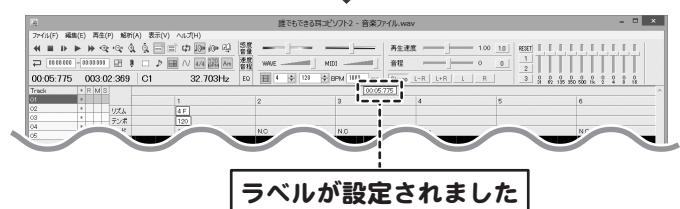
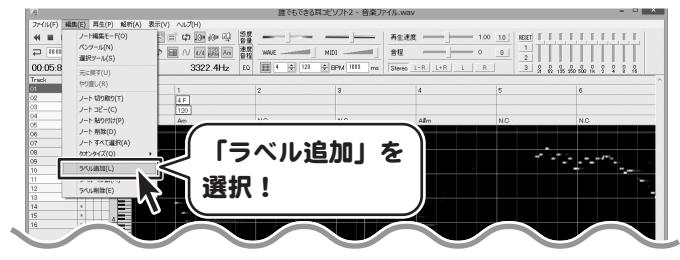
1 ラベルを設定する場所を指定します

解析グラフ上の、ラベルを設定したい位置でクリックすると、再生位置がピンク色の縦線で表示されます。
その線の位置にラベルを設定することができます。



2 ラベルを設定します

メニューバーの「編集」メニューから「ラベル追加」を選択します。
ラベル追加画面が表示されます。
ラベル名には、ラベルを設定した位置の時間が表記されていますので、
ラベル名を変更する場合はラベル名を
入力します。
ラベル名を設定したら、OKボタンを
クリックしてください。



その他の機能

ダブルクリックでラベルを設定する

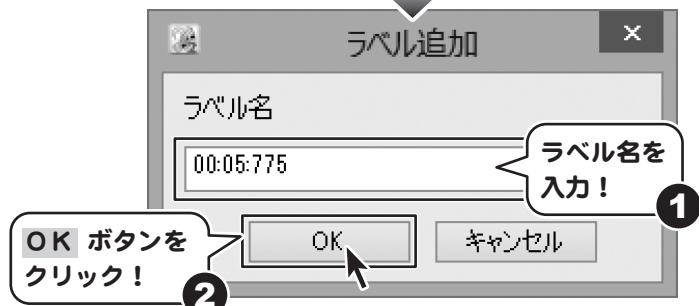
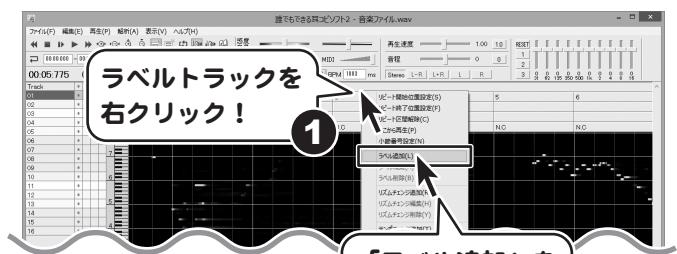
ラベルを追加したい位置でラベルトラックをダブルクリックしますと、ラベル追加画面が表示されますので、ラベル名を入力して、OKボタンをクリックしますと、ラベルが追加されます。



右クリックメニューからラベルを設定する

ラベルを追加したい位置でラベルトラックを右クリックしますと、右クリックメニューが表示されますので、「ラベル追加」を選択します。

ラベル追加画面が表示されましたら、ラベル名を入力して、OKボタンをクリックしますと、ラベルが追加されます。



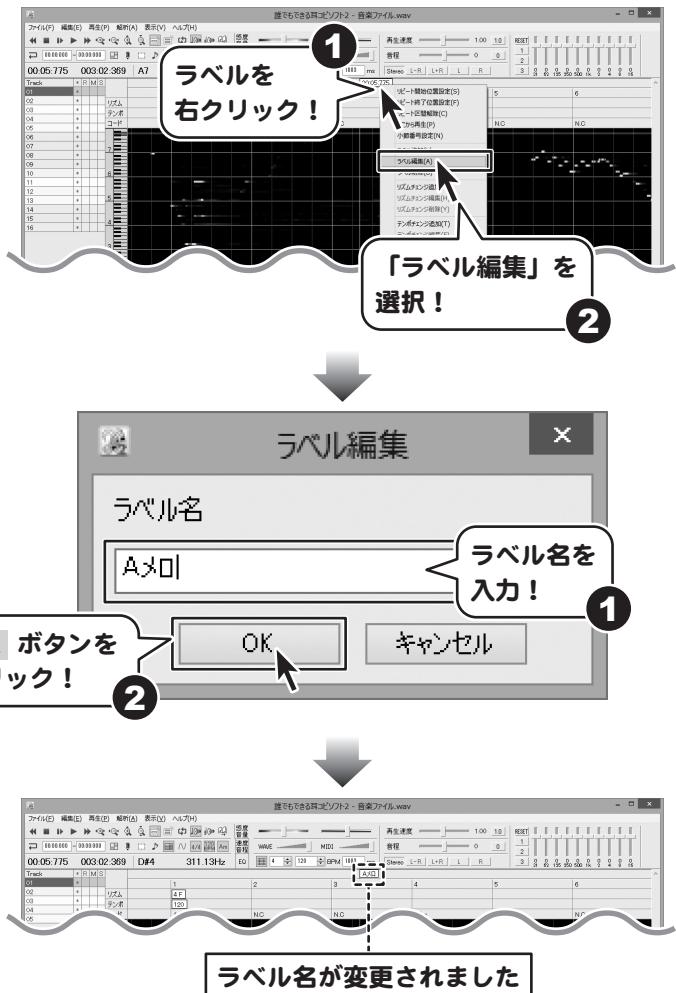
その他の機能

ラベル名を編集する

ラベルの上で右クリックして表示されるメニューから、「ラベル編集」を選択します。ラベル編集画面が表示されます。

ラベルの上でダブルクリックしても、同様にラベル編集画面が表示されます。

ラベル編集画面が表示されましたら、ラベル名を入力して、OK ボタンをクリックします。



その他の機能

ラベルを削除する

削除したいラベルの上を右クリックすると表示されるメニューの中から、「ラベル削除」を選択しますと、ラベルが削除されます。



編集メニューからラベルを削除する

「編集」メニューから「ラベル削除」を選択すると、設定したラベルの一覧が表示されます。その中から、削除したいラベルの名称を選択しても、ラベルを削除することができます。



その他の機能

テンポチェンジする

曲の任意の場所でテンポを設定し、曲の途中でテンポを変えることができます。
テンポチェンジを設定する前に、33ページを参考にテンポの設定を行ってください。

1 テンポを追加します

テンポトラック上のテンポチェンジする場所でダブルクリックすると、テンポチェンジ追加画面が表示されます。または、テンポチェンジする場所で右クリックすると、メニューが表示されますので、メニューの中から「テンポチェンジ追加」を選択します。

テンポチェンジ追加画面が表示されますので、MEAS(小節番号)を入力し、BPM(テンポ)を入力して、OKボタンをクリックしますと、MEASで設定された位置にテンポチェンジが追加されます。



2 テンポチェンジしたデータを反映します

テンポが追加されましたら、変更したテンポに合わせてコードを解析し直します。自動採譜の場合も、再度自動採譜すると、ノートデータが変更されます。

コードの解析については34～36ページを、自動採譜については39～42ページを参考に、行ってください。

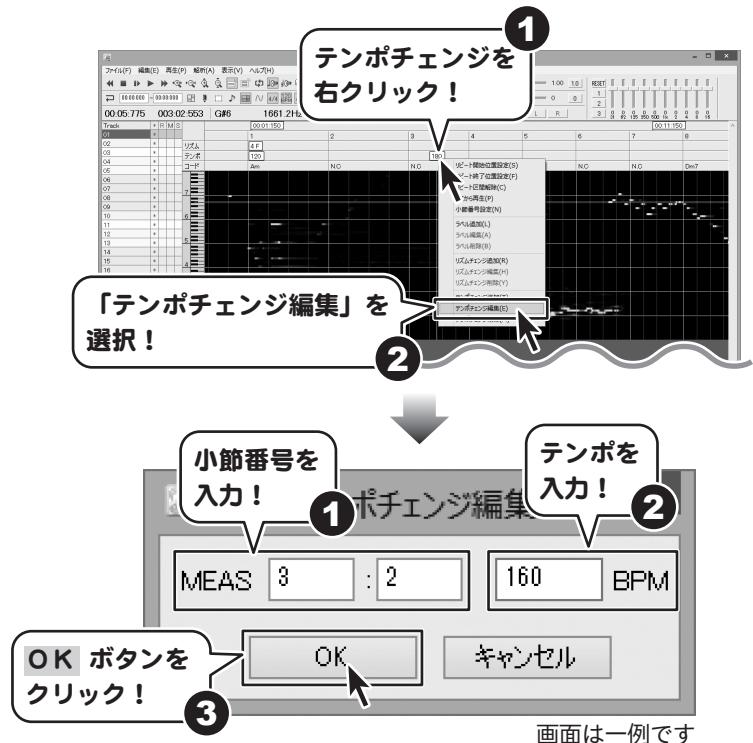
その他の機能

テンポチェンジを編集する

編集を行うテンポチェンジの上で右クリックして表示されるメニューから、「テンポチェンジ編集」を選択します。テンポチェンジ編集画面が表示されます。

テンポチェンジの上でダブルクリックしても、同様にテンポチェンジ編集画面が表示されます。

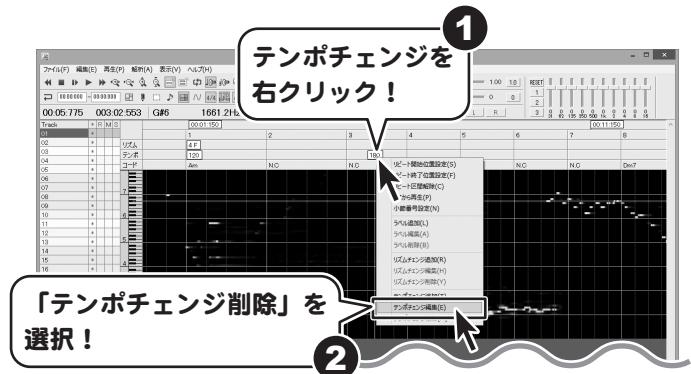
テンポチェンジ編集画面が表示されましたら、MEAS(小節番号)を入力し、BPM(テンポ)を入力して、OKボタンをクリックします。



その他の機能

テンポチェンジを削除する

削除したいテンポチェンジの上を右クリックして表示されるメニューの中から、「テンポチェンジ削除」を選択しますと、テンポチェンジが削除されます。



その他の機能

リズム、キーチェンジを追加する

曲の任意の場所でリズム、キーチェンジを行います。

1 リズム、キーチェンジを追加します

リズム、トラック上のリズム、キーチェンジする場所でダブルクリックすると、リズム、キーチェンジ追加画面が表示されます。または、リズム、キーチェンジする場所で右クリックすると、メニューが表示されますので、メニューの中から「リズムチェンジ追加」を選択します。

リズム、キーチェンジ追加画面が表示されますので、MEAS(小節番号)と拍子を入力し、キーを選択して、OK ボタンをクリックしますと、MEAS で設定された位置にリズム、キーチェンジが追加されます。



2 リズム、キーチェンジしたデータを反映します

リズム、キーチェンジが追加されましたら、変更したリズム、キーに合わせてコードを解析し直します。

自動採譜の場合も、再度自動採譜すると、ノートデータが変更されます。

コードの解析については 34 ~ 36 ページを、自動採譜については 39 ~ 42 ページを参考に、行ってください。

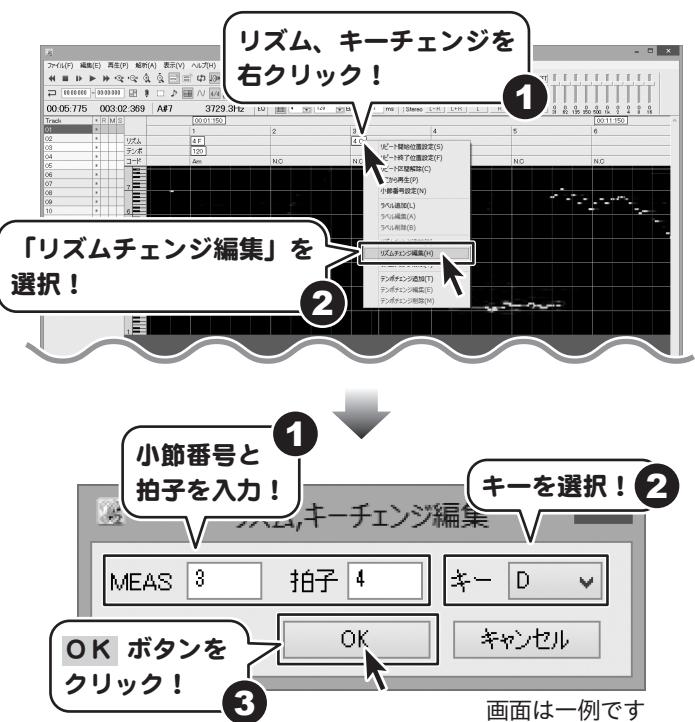
その他の機能

リズム、キーチェンジを編集する

編集を行うリズム、キーチェンジの上で右クリックして表示されるメニューから、「リズムチェンジ編集」を選択します。リズム、キーチェンジ編集画面が表示されます。

リズム、キーチェンジの上でダブルクリックしても、同様にリズム、キーチェンジ編集画面が表示されます。

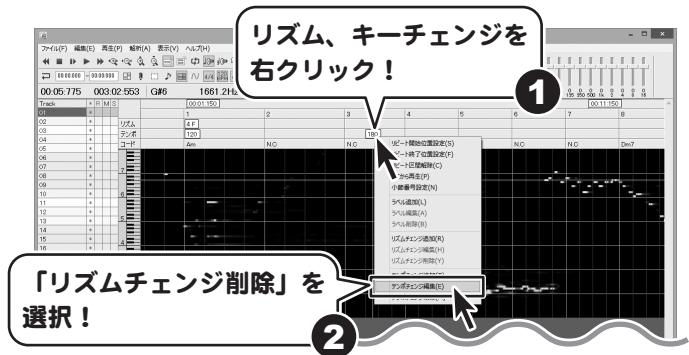
リズム、キーチェンジ編集画面が表示されましたら、MEAS(小節番号)と拍子を入力し、キーを選択して、OKボタンをクリックします。



その他の機能

リズム、キーチェンジを削除する

削除したいリズム、キーチェンジの上を右クリックして表示されるメニューの中から、「リズムチェンジ削除」を選択しますと、リズム、キーチェンジが削除されます。

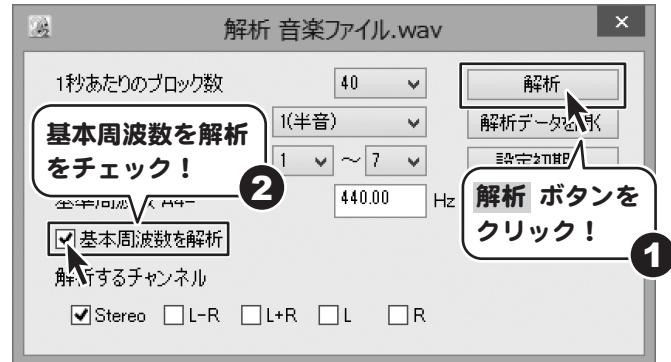


その他の機能

基本周波数を解析する

1 基本周波数を解析します

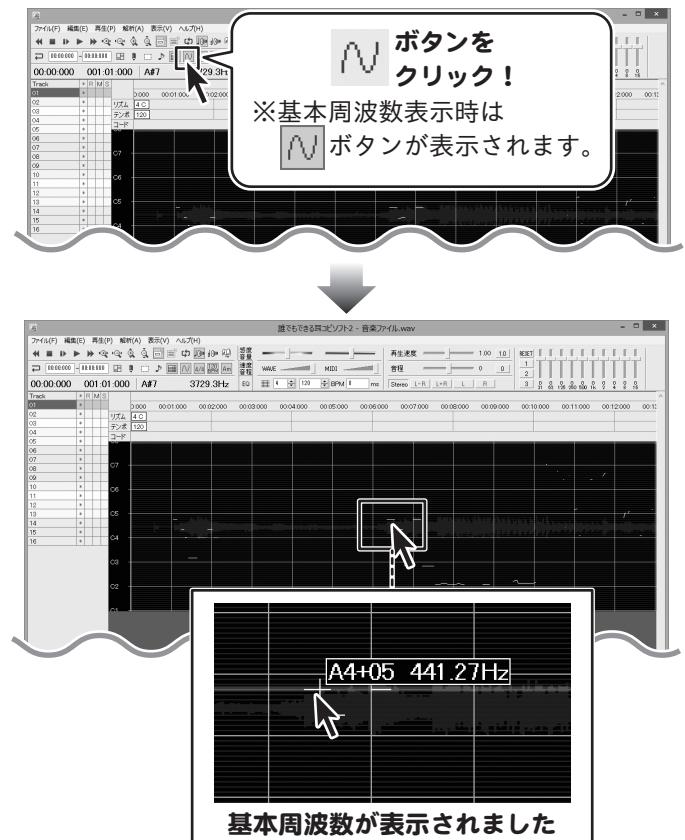
26～28ページの手順で音声ファイルを開き、解析画面を表示します。
「基本周波数を解析」にチェックをいれて、
解析ボタンをクリックします。



2 基本周波数を表示します

ボタンをクリックしますと、
ボタンの色が (青色) になります。
ボタンが青色の時は、基本周波数を
グラフ表示します。
ボタンをクリックすると、色が交互に
変わりますので、基本周波数の表示・
非表示を設定してください。

周波数の線上にマウスポインターを
あわせると、その位置のコードと
周波数を表示します。

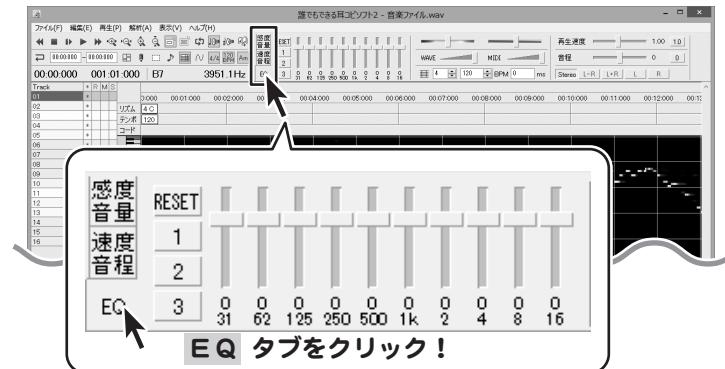


その他の機能

イコライザを設定・登録する

1 イコライザタブを表示します

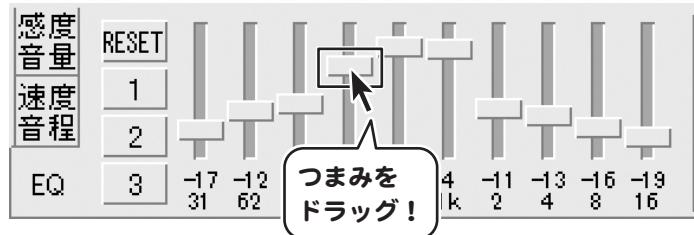
EQ タブをクリックして、イコライザを表示します。



2 イコライザを設定します

初期設定では、各数値はゼロになっています。
音楽を聴きながら、つまみの位置を
ドラッグして移動し、音を調整します。

おおまかに、
31、62、125→低音部分
250、500、1K→ボーカル部分(中間音部分)
2k、4k、6k、8k、16k→高音部分
になっています。

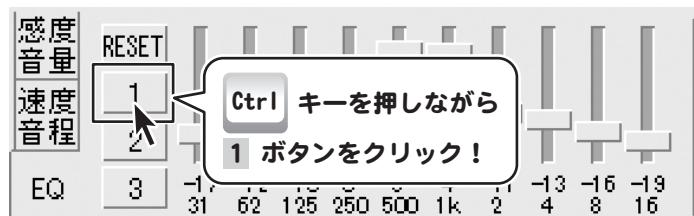


3 イコライザの設定を登録します

イコライザの設定ができましたら、
キー ボードの [Ctrl] キーを押したまま、
登録するボタンをクリックします。

例として、[1]に登録しますので、
1 ボタンをクリックします。

1 ボタンにイコライザがプリセット
されました。
同様に、2 3 のボタンにもイコライザの
設定を登録できます。
登録した数字ボタンをクリックすると、
プリセットが適用されます。



その他の機能

速度・音程を設定する

1 速度音程タブを表示します

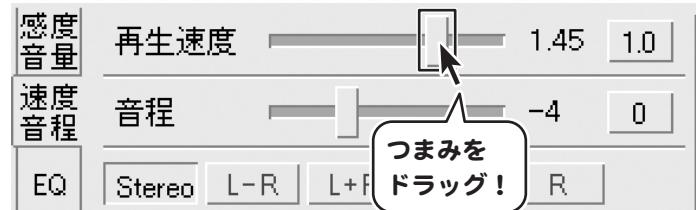
速度音程 タブをクリックして、速度音程を表示します。



2 再生速度を設定します

初期設定では、再生速度は 1.0 になっています。つまみをドラッグして移動して、再生速度を設定します。

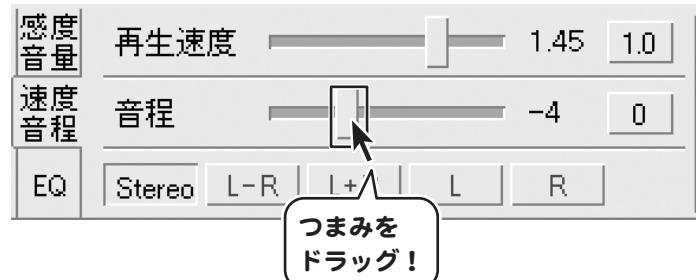
早まわしの時は右へ(1.05 ~ 2.00)、遅まわしの時は左へ(0.95 ~ 0.10)設定します。



3 音程を設定します

初期設定では、音程は 0 になっています。つまみをドラッグして移動して、音程を設定します。

音程を低くする時は右へ(-1 ~ -12)、音程を高くする時は左へ(1 ~ 12)設定します。



その他の機能

音楽に効果を付けて、WAVEファイルとして保存する

1 音楽に効果を設定します

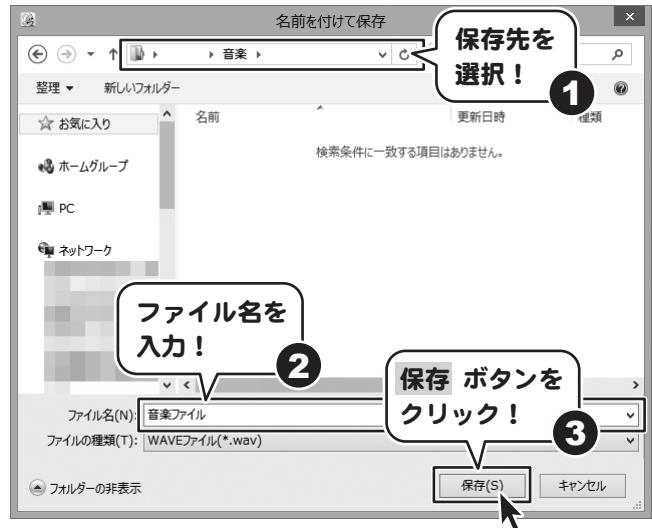
69～70ページを参考に、音楽に効果を設定します。



2 音楽をWAVEファイルとして保存します

設定が終りましたら、
「ファイル」メニューから、
「Wave ファイル出力」を選択します。

名前を付けて保存画面が表示されますので、
保存先を指定して、ファイル名を入力して、
保存 ボタンをクリックしてください。

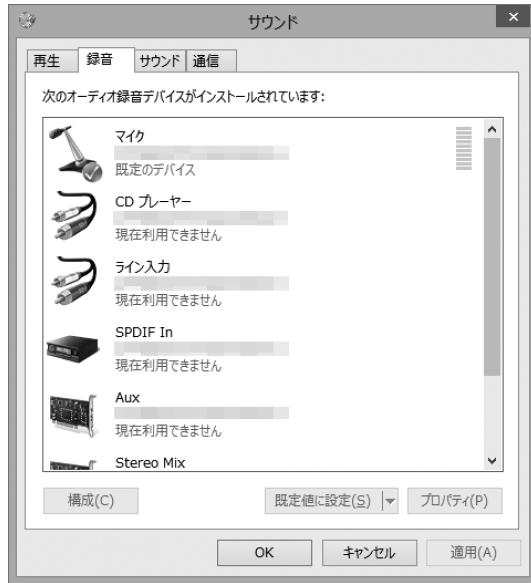


その他の機能

録音した音声を解析する

1 パソコンの録音デバイスを設定します

コントロールパネルから「サウンド」を開いて、録音デバイスの設定を行います。



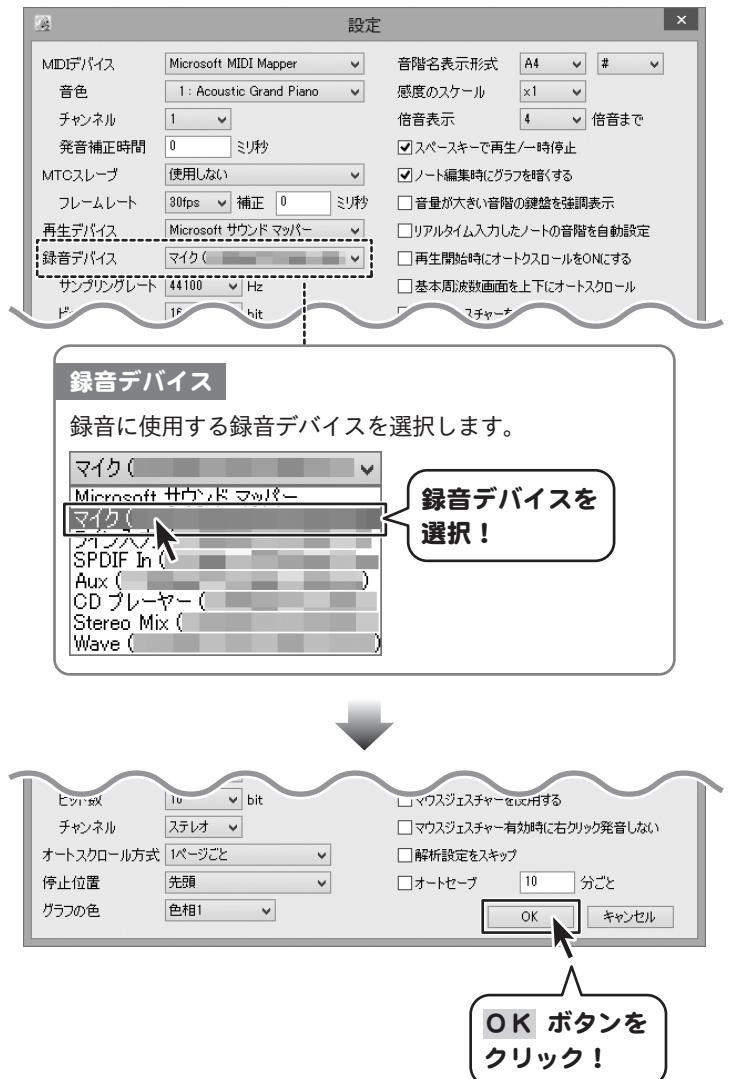
2 録音に使用するデバイスを設定します

「ファイル」メニューから「設定」を選択して設定画面を表示します。

「録音デバイス」の項目で、▼をクリックしてデバイスを選択しましたら、
OK ボタンをクリックしてください。



その他の機能



その他の機能

3 録音を開始します

「ファイル」メニューの「録音」を選択して録音画面を表示します。

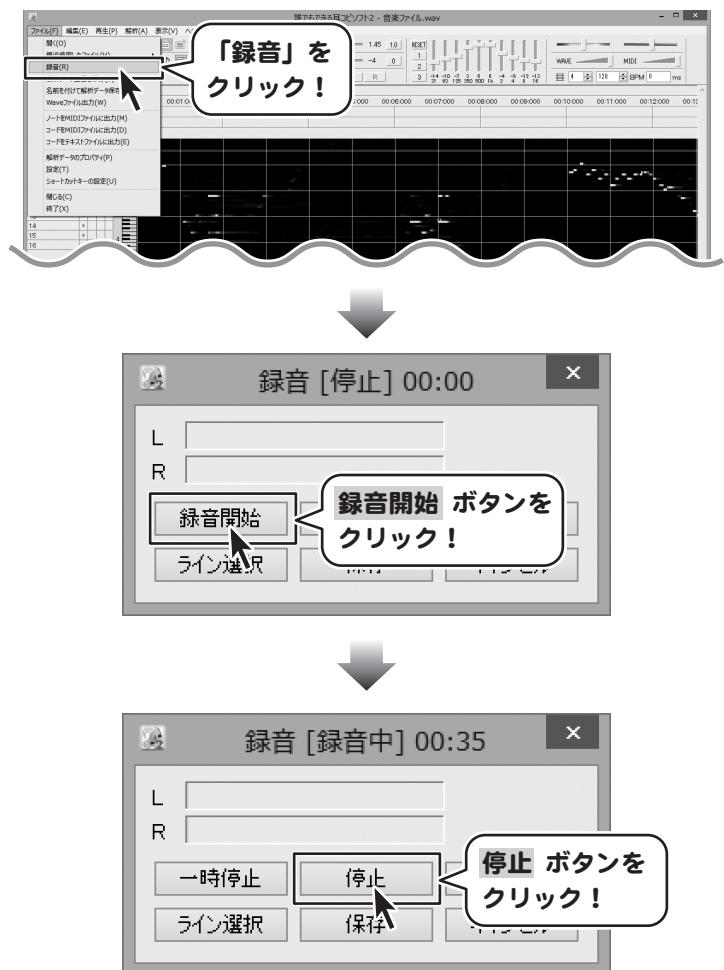
ライン選択 ボタンをクリックしますと、「サウンド」画面が開き、録音デバイスの設定を確認することができます。

録音を開始するには、**録音開始** ボタンをクリックします。

録音中は、**録音開始** ボタンが**一時停止** ボタンに変わります。

録音を途中で止めるには、**一時停止** ボタンをクリックします。

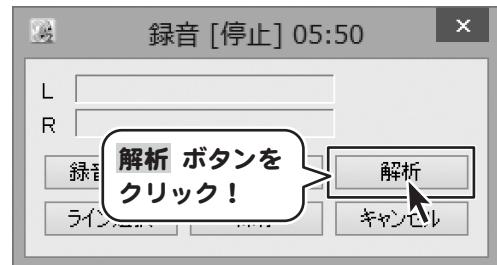
録音が終わりましたら、**停止** ボタンをクリックしますと、録音が終了します。



その他の機能

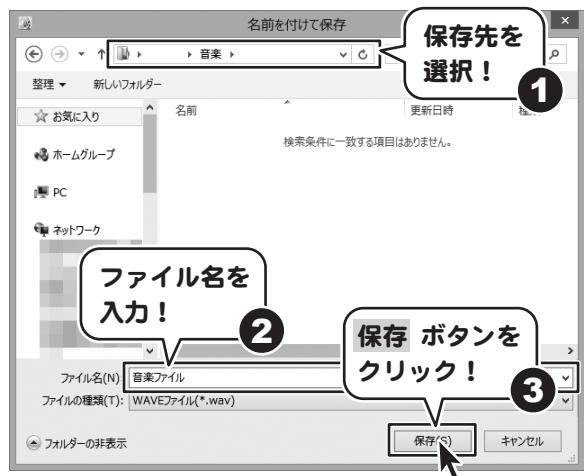
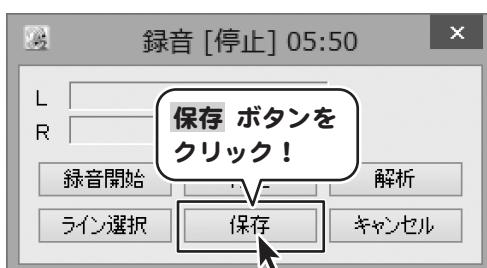
4 録音した音声を解析します

録音が終了したら、**解析** ボタンをクリックします。
解析画面が表示されますので、27 ページを参考に、解析を行うことができます。



録音した音声を保存する

録音画面で、**保存** ボタンをクリックしますと、録音した音声をWAVEファイルとして保存することができます。



付属ソフト・CDリッピングツール

画面・各部の説明

「CDリッピングツール」を起動すると、下のような画面が表示されます。



CDドライブを開きます。

※CDドライブによっては使用できない場合があります。



CDドライブを閉じます。

※CDドライブによっては使用できない場合があります。



▼をクリックして、CDが挿入されているドライブを選択します。(例:CDドライブがDの場合)

変換リスト

変換対象の音楽が表示されます。



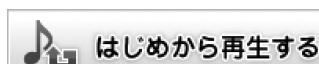
[変換リスト]で選択したトラックを再生します。



変換リストに表示されているトラック全てを選択状態にします。

プレビュー

再生中のトラックの時間を表示します。



再生中のトラックを曲のはじめから再生します。

付属ソフト・CDリッピングツール



ひとつ前のトラックを再生します。



ひとつ後ろのトラックを再生します。



再生を停止します。



再生を一時停止します。



一時停止した時点から途中再生します。

出力ファイル形式

出力したいファイル形式をWAV / MP3から選択します。



変換作業を中止します。



選択したトラックをリッピングする

選択したトラックを変換します。

付属ソフト・CDリッピングツール

CDの音楽をソフトに読み込める形式に変換する

「CDリッピングツール」を起動して、(起動方法は7~8ページをご覧ください)CDの音楽をソフトに読み込める形式に変換します。

1 変換するCDをCDドライブに入れます

2 変換するCDの音楽を設定します

▼をクリックして、[ドライブ]からCDが挿入されているドライブを選択します。
次に、[変換リスト]にCD内のトラックが表示されますので、変換するトラックをクリックで選択します。
次に、[出力ファイル形式]から出力形式を選択します。
設定が終わりましたら、[選択したトラックをリッピングする]ボタンをクリックします。

※本ソフトで読み込める音楽ファイルの形式はWAVE形式のみとなります。
本ソフトで読み込みを行うファイルはWAVE形式を選択してください。

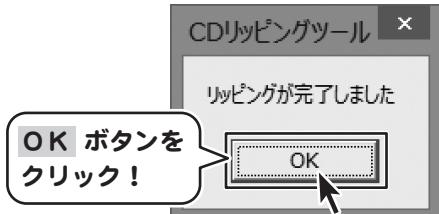
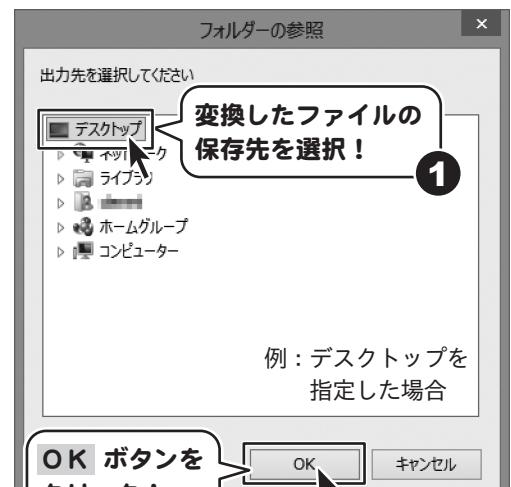


付属ソフト・CDリッピングツール

3 CDの音楽を変換します

フォルダーの参照画面が表示されましたが、変換したファイルの保存場所を選択し、**OK** ボタンをクリックしますと、CDの音楽の変換がはじまります。

変換が終わると、
[リッピングが完了しました]という画面が表示されますので、**OK** ボタンをクリックして、画面を閉じます。

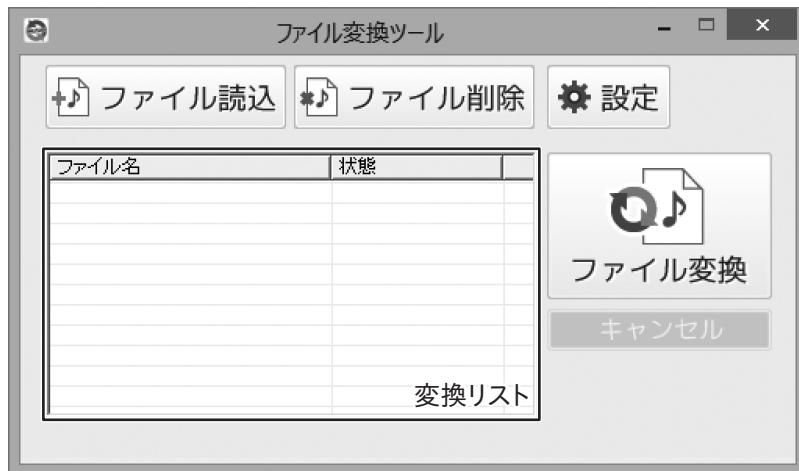


付属ソフト・ファイル変換ツール

画面・各部の説明

「ファイル変換ツール」を起動すると、下のような画面が表示されます。

ファイル変換ツール画面 ファイル変換ツールを起動すると、下のような画面が表示されます。



パソコンに保存されている音楽ファイルから変換するファイルを選択します。



変換リストに追加したファイルをリストから削除します。



設定画面を表示して変換したファイルの保存先を指定します。



ファイル変換

MP3、M4A、AACの音楽ファイルをWAVEファイルに変換します。



変換をキャンセルします。

変換リスト

変換を行う音楽ファイルのリストを表示します。

付属ソフト・ファイル変換ツール

ファイル変換ツール 設定画面



保存先

現在設定されている保存先を表示します。

選択

変換された音楽ファイルの保存先を選択します。

変換後にフォルダーを開く

チェックを入れると、変換終了後に保存先を開きます。

設定

設定を保存して設定画面を閉じます。

キャンセル

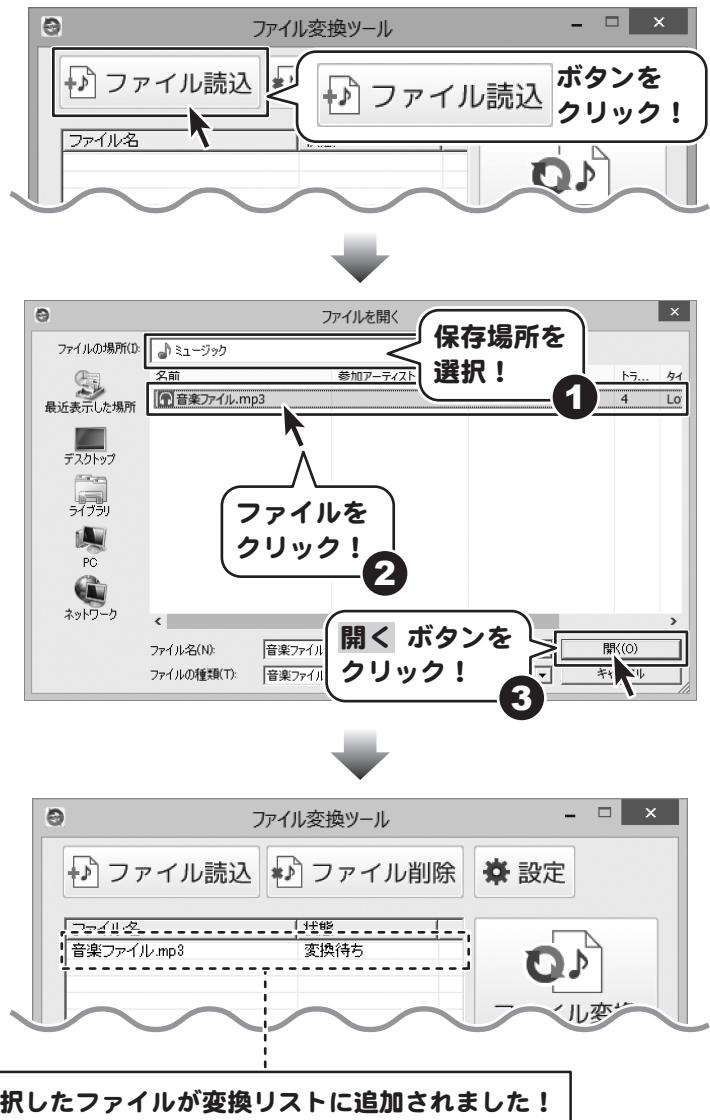
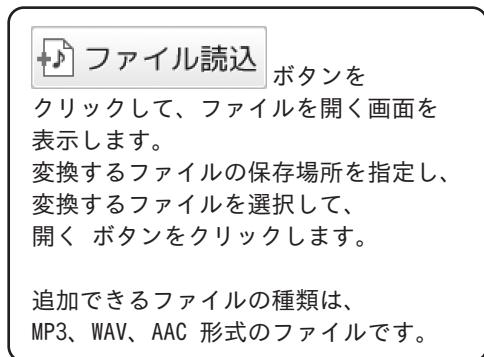
設定を保存しないで設定画面を閉じます。

付属ソフト・ファイル変換ツール

音楽ファイルを読み込める形式に変換する

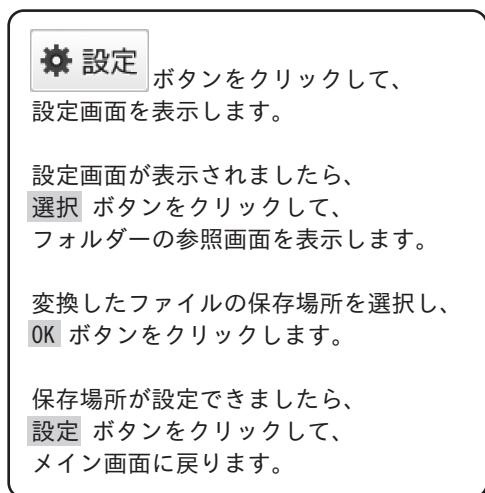
ファイル変換ツールを使用して、音楽ファイルを誰でもできる耳コピソフト2で読み込める形式に変換します。

1 変換する音楽ファイルを選択します



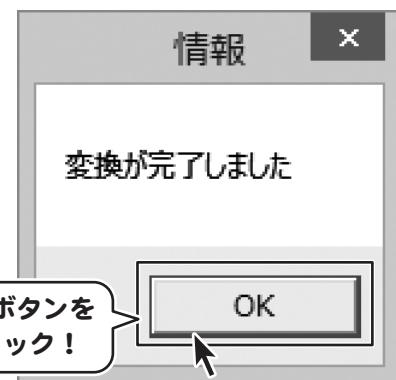
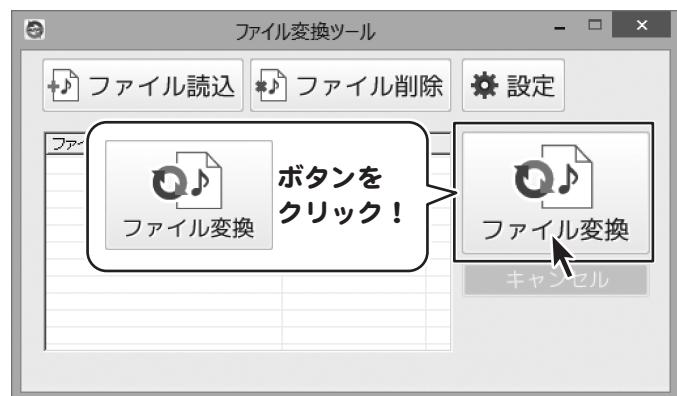
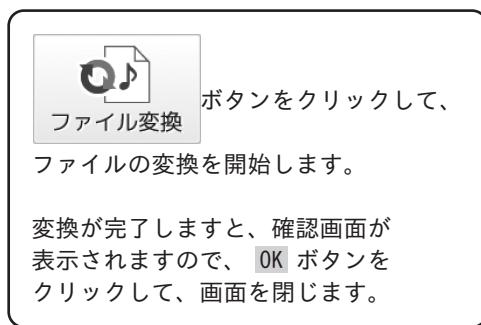
付属ソフト・ファイル変換ツール

2 変換したファイルの保存場所を設定します



付属ソフト・ファイル変換ツール

3 音楽ファイルを変換します



よくあるお問い合わせ

インストール・起動について

Q：インストールができない

A：以下の項目をご確認ください。

- ウィルス対策などのソフトが起動していないか。
- OHDD(ハードディスク)の空き容量は十分にあるか。
- 管理者権限でログインしているか。
- Windowsを最新の状態にアップデートしてあるか。

Q：管理者権限を持っていないユーザー アカウントでパソコンを起動し、インストールしようとすると

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[OK]をクリックしてください。」(Vista/7/8)

「インストールプログラムにはディレクトリ～にアクセスする権限がありません。

インストールを継続できません。管理者としてログインするか、

またはシステム 管理者にお問い合わせください。」(XP)と表示されてインストールができません

A：本ソフトをご利用の際には管理者権限を持ったユーザー アカウント上でご利用ください。

Q：ソフトの起動ができません

A：以下の項目をご確認ください。

- インストールは完了しているか。
- 管理者権限でログインしているか。
- 外付けの機器(ハードディスクやUSBメモリ等)にソフトをインストールしている場合、
それらの機器がパソコンに接続され、パソコン上で認識されているか。

よくあるお問い合わせ

Q：完全アンインストールの方法を教えてください

A：OS毎に異なりますので以下の内容をご確認ください。

また、作成済みのデータなどは必要に応じて別の場所(別のドライブ)へコピー等を済ませておいてください。
Windows XPの場合

1. 「アンインストール方法(製本マニュアル5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. マイコンピュータ→Cドライブ→Documents and Settings→ユーザ名→Application Data(※)→IRT→dare_mimicopy2フォルダーを削除します。

Windows Vista、7、8、8.1の場合

1. 「アンインストール方法(製本マニュアル5ページ)」より、アンインストール作業を行います。
2. コンピューター(Windows Vistaは[コンピュータ])→Cドライブ→Users→ユーザ名→AppData(※)→Roaming→IRT→dare_mimicopy2フォルダーを削除します。

※初期設定では隠しフォルダーになっている為、表示されていない場合があります。

隠しフォルダーの表示方法

Windows XPの場合

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定: ファイルとフォルダーの表示[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

Windows Vistaの場合

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定: ファイルとフォルダの表示[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

Windows 7の場合

コントロールパネル→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定: ファイルとフォルダの表示[全てのファイルとフォルダを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

Windows 8、8.1の場合

設定→コントロールパネル→[デスクトップのカスタマイズ]→[フォルダオプション]→[表示]タブ→

詳細設定: [隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する]を選択→[適用]→[OK]をクリック

機能について

Q：Waveファイルに保存(出力)するにはどのくらいの時間がかかるの？

A：時間やパソコンの性能によってそれぞれ異なります。

Q：パソコンで再生できない

A：対応ファイルの再生に必要なコーデック、フィルター等が必要です。

お使いのパソコン上で正常に再生できるファイルのみの対応となります。

Q：パートごとにコードを検出することはできますか？

A：パートごとにコードを検出する機能はついていません。

Q：ベースやドラムなど曲のパートごとに採譜したい

A：曲全体から音の強いところやメロディを採譜するので、

パートごとに採譜することはできません。

よくあるお問い合わせ

Q：メロディーがイメージ通りに採譜できない。

A：伴奏などが大きい、色々な音が混在しているなど、
楽曲の状態によってはメロディーが取りにくい場合があります。

Q：五線譜などの楽譜を作成することはできますか

A：楽譜作成機能はございません。

Q：コードはどのような形で出力されるの？

A：テキストに英字が並んだように表示されます。

Q：鼻歌からも採譜できますか？

A：マイクを接続して鼻歌を録音することで採譜できますが、
録音機能がないパソコンでは録音自体ができないこともあるため、
お使いのパソコン環境を今一度ご確認くださいますようお願いいたします。

Q：音声の録音ができない

A：パソコン内に内部の音を録音する機能がないパソコンでは録音することができません。

Q：マイクで録音すると音がエコーのようになる。

A：音の設定が正しく設定されていない可能性があります。（XPの場合のみ）

以下の順番で確認してください。

1. コントロールパネルから「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を選択
2. 「サウンドとオーディオデバイス」を選択
3. 「サウンドとオーディオデバイス」のプロパティ画面の音声タブから「音声録音」の音量ボタンをクリック
4. 「録音コントロール」画面からステレオミキサーの音量を一番下へさげます。

もしくはミュート（選択）のチェックボックスにチェックを入れてください。

※ステレオミキサーが表示されていない場合、「録音コントロール画面」の
オプション→プロパティから表示されるコントロールの設定を確認してください。

よくあるお問い合わせ

Q：マイクで録音したいが音が認識されない

A：音の設定およびマイクの設定が正しく認識されていない可能性があります。以下の順番で確認してください。

Windows XPの場合

1. コントロールパネルから「サウンド、音声、およびオーディオデバイス」を選択
2. 「サウンドとオーディオデバイス」を選択
3. 「サウンドとオーディオデバイス」のプロパティ画面の音声タブから「音声録音」の音量ボタンをクリック
4. 「録音コントロール」画面からステレオミキサーのチェックボックスにチェックを入れてください。
5. 聞いたまま録音のメイン画面から録音画面を開き入力のモニタリングのチェックボックスにチェックを入れてください。

Windows Vistaの場合

1. コントロールパネルから「ハードウェアとサウンド」を選択
2. サウンドの「オーディオデバイスの管理」を選択
3. サウンド画面の録音タブから録音デバイスにマイクデバイスがインストールされているか確認してください。
4. プロパティをクリックし、デバイスの使用状況でデバイスが有効になっているか確認してください。

Windows 7、8、8.1の場合

1. コントロールパネルから「ハードウェアとサウンド」を選択
2. サウンドの「オーディオデバイスの管理」を選択
3. サウンド画面の録音タブから録音デバイスにマイクデバイスがインストールされているか確認してください。
4. プロパティをクリックし、デバイスの使用状況でデバイスが有効になっているか確認してください。

ファイル変換ツールについて

Q：変換に失敗する

A：音楽ファイルが破損しているかプロジェクトがかかっている可能性があります。

破損や、プロジェクトがかかっている場合には変換できません。

Q：長い音楽も変換できますか？

A：変換する音楽に、時間制限はありません。時間に関係なく変換できます。

Q：音楽の変換にはどのくらいの時間がかかるの？

A：音楽ファイルのサイズや長さ、お使いのパソコンの性能によってそれぞれ異なります。

CDリッピングツールについて

Q：出力できる音楽の種類は？

A：出力対応ファイルはMP3 / WAV形式となります。

Q：リストから任意で選択したファイルのみリッピングしたい

A：リストからリッピングしたい項目をCtrlボタンで選ぶことができます。

よくあるお問い合わせ

その他

Q：複数のユーザーで使用できますか？

A：本ソフトは、『1ソフト・1PC・1ユーザー』でご利用いただくソフトです。
1つのパソコン内に二重インストール等を行うことはできません。

Q：他のパソコンとの共有はできますか？

A：本ソフトは、インストールを行ったパソコン上で操作していただく仕様です。
ネットワーク等でご利用いただくことはできません。

Q：入力した文字が文字化けしてしまいます

A：ご利用パソコンの言語設定をご確認ください。また併せて日付の設定もご確認ください。

Q：画面の一部が切れた状態で表示される

A：画面解像度を推奨サイズ以上に変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」をクリックし、設定タブをクリックします。
3. 画面の解像度のバーを動かし、1280×768以上に設定します。
4. 「OK」をクリックすれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」をクリックし、画面の設定をクリックします。
3. 解像度を1280×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

【Windows7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「画面の解像度の調整」をクリックします。
3. 解像度を1280×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

【Windows 8、8.1の場合】

1. デスクトップの何も無い所で右クリック→画面の解像度をクリックします。
2. 解像度を1280×768以上に設定し「OK」をクリックで設定完了です。

※機種によっては推奨解像度が表示できないものもあります。

よくあるお問い合わせ

Q：ボタンをクリックしても反応しない、また画面が正常に表示されていない

A：お使いのパソコンのDPI設定が標準以外(96以外)に変更されている可能性があります。

以下の手順にてDPI設定を変更してください。

【Windows XPの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「プロパティ」を左クリックし、「設定」タブをクリックします。
3. 「詳細設定」をクリックし、「全般」タブの「DPI設定」を「96DPI」に設定します。
4. 「OK」をクリックし、パソコンを再起動すれば設定完了です。

【Windows Vistaの場合】

1. デスクトップ画面の何も無い所を右クリックします。
2. 「個人設定」を左クリックし、「フォントサイズ(DPI)の調整」をクリックします。
3. 「あなたの許可が必要です」と許可を求められますので「続行」をクリックします。
4. 「規定のスケール(96DPI)」にチェックを付け、「OK」をクリックします。
5. パソコンが自動的に再起動されますので、再起動したら設定完了です。

【Windows 7の場合】

1. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
3. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
4. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからログオフする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐログオフ」をクリックします。
5. パソコンからログオフされますので、再度ログインすると設定完了です。

【Windows 8、8.1の場合】

1. マウスポインタを右下の角に移動し、「設定」をクリックします。
2. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「デスクトップのカスタマイズ」をクリックし、「テキストやその他の項目の大きさを変更します」をクリックします。
4. 小-100%(規定)にチェックを入れ「適用」をクリックします。
5. 「これらの変更を適用するには、コンピューターからサインアウトする必要があります。」と確認を求められますので、「今すぐサインアウト」をクリックします。
6. パソコンからサインアウトされますので、再度サインインすると設定完了です。

よくあるお問い合わせ

Q : 「2013 ****」は日付ではありません…というエラーメッセージが表示される

A : Windowsの日付形式の設定が標準のもの以外になっているとアプリケーションソフトが正常に動作(表示等)がされない場合があります。以下の手順で設定をご確認の上、標準の設定にて本ソフトをご使用ください。

【Windows XPの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「日付・時刻・地域と言語のオプション」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「地域オプション」タブを選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「カスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
「短い形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
区切り記号 /
「長い形式」 長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows Vistaの場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語のオプション」をクリックします。
4. 「形式」を選択して、「日本語」に設定されていることを確認後、「この形式のカスタマイズ」をクリックします。
5. 「日付」をクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

【Windows 7の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. スタートメニューより「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計・言語・および地域」→「地域と言語」をクリックします。
4. 「形式」タブを選択して、「Japanese(Japan)」に設定されていることを確認後、「追加の設定」をクリックします。
5. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダーの種類」 西暦(日本語)
6. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

よくあるお問い合わせ

【Windows 8、8.1の場合】

1. 本ソフトを含め、起動している全てのソフトを終了させます。
2. マウスポインタを右下の角に移動し、設定ボタンをクリックします。
3. 右側に設定画面が表示されましたら「コントロールパネル」をクリックします。
4. 「時計、言語および地域」→「地域」をクリックします。
5. 言語が「日本語」に設定されていることを確認後、「形式」タブを選択して「追加の設定」をクリックします。
6. 「日付」タブをクリックして、表示されている設定項目を以下の通りに変更します。
「データ形式」 短い形式(S) yyyy/MM/dd
長い形式(L) yyyy'年'M'月'd'日'
「カレンダー」 西暦(日本語)
7. 「適用」→「OK」の順にクリックし、パソコンを再起動させます。

Windows OSやパソコン本体・プリンターなどの周辺機器に関する詳細は、各メーカー様へお問い合わせください。
弊社では一切の責任を負いかねます。

memo

お問い合わせ窓口

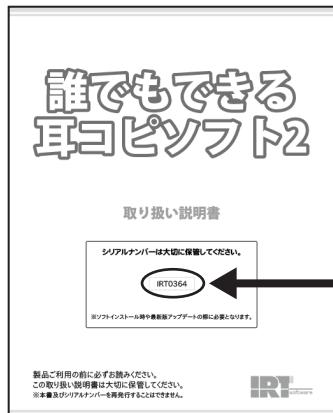
本ソフトに関する、ご質問・ご不明な点などございましたら、
パソコンの状況など具体例を参考に出来るだけ詳しく書いていただき、
メール・電話・FAX等でユーザーサポートまでご連絡ください。

○ソフトのタイトル・バージョン

例:「誰でもできる耳コピソフト2」

○ソフトのシリアルナンバー

本書の表紙に貼付されています。



**シリアルナンバーシール
貼付場所**

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例:Windows 8

Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例:Internet Explorer 10

・パソコンの仕様

例:SONY XXXX-XXX-XX

Pentium III 1GHz HDD 500GB Memory 2GB

・プリンターなど接続機器の詳細

例:プリンター EPSONのXXXX(型番)を直接ケーブルで接続している

インクジェットプリンター、ドライバーソフトは更新済み

○お問合せ内容

例:～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先など

※メールの場合、お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、

弊社からのメールが受信されない場合がありますので、その際は設定をご確認ください。

お問い合わせ窓口



ご質問・ご不明な点がございましたら、サポート専用番号へご連絡ください。コンピューターのスペックや周辺機器などの状況を詳しくお調べの上、お伝えください。

メールでのお問い合わせ

E-mail info@irtnet.jp

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

※サポート受付時間は変更される場合があります。

お電話・FAXでのお問い合わせ

TEL 050-3538-6703

FAX 050-3538-6704

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

※電話番号やサポート受付時間は変更される場合があります。

IRTホームページ

URL <http://irtnet.jp/>

ホームページでは、**ソフトウェアの最新情報、アップデート情報**をお知らせしております。最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

■ご注意

お客様よりいただいたお問合せに返信できない現象が多発しております。

FAX及びe-mailでのお問合せの際には、ご連絡先を正確に明記の上、サポートまでお送りくださいますよう宜しくお願ひ申し上げます。

また、お問い合わせいただく前に、プリンター等の設定などを今一度ご確認ください。時間帯等によっては、混雑等により一時的に電話が繋がりにくい場合があります。

その際はお手数ですが、時間をずらしておかけ直しください。

IRT
CORPORATION 株式会社アイアールティー